(有)鈴木養鶏場　鶏舎(10号棟鶏舎)新築工事

図 面 リ ス ト

区分	図面番号	図面名称	縮尺	区分	図面番号	図面名称	縮尺	区分	図面番号	図面名称	縮尺
建築意匠	00	図面タイトル・図面リスト表	――――	建築構造	S－1						
	A－01	特記仕様書(1)	――――		S－2						
	A－02	特記仕様書(2)	――――		S－3						
	A－03	特記仕様書(3)	――――		S－4						
	A－04	特記仕様書(4)	――――		S－5						
	A－05	付近見取り図・配置図・敷地面積求積図・床面積求積表	1/300・1/600		S－6						
	A－06	設計概要 ・ 外部仕上表 ・ 内部仕上表	――――		S－7						
	A－07	平均地盤面算定・屋根伏図	1/300・1/150		S－8						
	A－08	平面図	1/150		S－9						
	A－09	立面図	1/100		S－10						
	A－10	矩計図	1/50								
	A－11	断面詳細図(1)	1/50								
	A－12	断面詳細図(2)	1/50								
	A－13	建具キープラン ・ 建具表	1/200・1/100								

年度	設計年月	工事名		代表となる設計者		図 面 名 称	縮 尺		
30	30.5		(有)鈴木養鶏場　鶏舎新築工事 (10号棟鶏舎)		一級建築士 大臣登録 第 181377 号　本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z－12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	表紙・図面リスト表		建築士法第20条第1項に基づく表示 HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号　本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地　TEL(0977)75－0887	00
				その他の 設計者					

工 事 仕 様 書

Ⅰ　工 事 概 要

1. 工 事 場 所　　大分県速見郡日出町大字藤原字陣之辻5707－15番地
2. 敷 地 面 積　　1541．76㎡
3. 工事建物の概要

　1）建 物 名 称　　（有）鈴木養鶏場　鶏舎新築工事 （10号棟鶏舎）
　2）構 造 ・ 階 数　　鉄骨造　　（一部　　造）、地上　　1　　階建、地下　　階、PH　　階
　3）延 床 面 積　　497．00 ㎡
　4）耐 火 建 築 物　　・耐火建築物　・準耐火建築物　●　その他
　5）付 属 建 物

4. 工 事 種 別　　●　新築　・　増築　・　改築

5. 工 事 内 容　　●　建築工事

・ 設備工事　　電気設備　・　機械設備

・ 外構工事　　擁壁工事　・　アスファルト舗装工事　・　グランド舗装工事
　　花壇工事　・　駐車場麓　・　遊具設置工事

・撤去工事

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成22年版）」（以下、「標準仕様書」という）による
（2）電気設備、機械設備工事の工事仕様書は別図による

2．特記仕様

（1）項目は、番号に　●印の付いたものを適用する
（2）特記事項は、●印の付いたものを適用する
　　●印の付かないものは、※印の付いたものを適用する
　　●印と　※●印の付いた場合は、共に適用する
（3）特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す。
（4）G■印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下、「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示し、使用する材料はグリーン購入法の「判断の基準」を満たすよう努めるものとする。
（5）形状寸法の単位は特記なきかぎりミリメートルとする
（6）本工事仕様書に記載の無い事項は図示による

章	項　目	特 記 事 項	
●一般共通事項	● 適用基準等	●建築工事標準詳細図（平成22年版） ●建築鉄骨設計基準及び同解説（平成10年版） ●構内舗装・排水設計基準（平成13年版） ・擁壁設計標準図（平成12年版） ・敷地調査共通仕様書（平成11年版） ●工事写真の撮り方（改定第3版）	
	● 工事実績情報の登録	※適用する	（1．1．4）
	● 発生材の処理等	※現場説明書による　・構外搬出適切処理	（1．3．8）
	● 品質計画	施工計画書で定める場合の風圧力の計算 基準風速（ Vo ）　　（　　）m／s 地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ） 積雪区分　建告示第1455号　別表（　　） 適用工種 ・ALCパネル（外壁）・押出成形セメント板（外壁）・外壁石張（乾式） ・長尺金属板葺　・折板葺　・アルミ笠木　・ガラスブロック ・シート防水（機械式）・屋上緑化システム ・（　　）	（1．2．2）
	● 電気保安技術者	※要　　・不要	（1．3．3）
	● 設計GL	※図示による	
	7．既存部分等への処置	工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する	（1．3．12）
	8．別契約の関連工事	施工範囲　図示による 施工図等　設備機器の位置、取合い等が検討のできる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける	（1．1．7）
	● 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）から6）全ての事項を満たすものとする 1）品質・性能に関する試験データーが整備されていること 2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること 3）安定的な供給が可能であること 4）法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること 5）製造又は施工の実績があり、その信頼性が十分にあること 6）販売、保守等の営業体制が十分に整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること。 また、使用資材の中で大分県内で産出、生産又は製造される資材で規格、品質価格が適正である場合は、これを優先して使用するよう努める。	（1．4．2）
	●．環境への配慮	本工事の建物内部に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙及び仕上げ塗り材はホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする 2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする 3）接着剤はフタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキルシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする 4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする 5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次の通りとする。 規制対象外品 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種品 ①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE₀規格品 ④旧JASのF₀₀規格品 アスベスト含有建材 本工事に使用する材料については、アスベストを含有しないものとする。	（1．4．1）
	● 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンステンの濃度を測定し、監督職員に報告すること 測定はパッシブ型採取機器により行う 測定対象室及び測定箇所数 （測定対象室：児童クラブ室（2）1／図書室 1／事務室 1） 注）測定パッジはホルムアルデヒド用と、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン用の2種類を用いる	（1．5．9）
	● 技能士	適用種別 適用工事種別：技能検定の職種等 ・鉄筋工事：●鉄筋施工 ・コンクリート工事：●型枠施工／●コンクリート圧送施工 ・鉄骨工事：・とび／●鉄工　＊ ・組積工事：・ブロック建築／・ALCパネル施工 ・防水工事：・アスファルト防水／・ウレタンゴム系塗膜防水／・合成ゴム系シート防水／・塩化ビニル系シート防水／・改質 アスファルトシートーチ／●シーリング防水工事 ・石材施工：・石材施工 ・タイル工事：・タイル張り ・木工事：・建築大工 ・屋根工事：●内外装板金／・シート防水施工／・スレート施工 ・金属工事：●鋼製下地工事／●内外装板金／左官工事：●左官／塗装工事：●建築塗装／建具工事：・木製建具手加工／・アルミ製室内建具製作／・ビル用サッシ施工／・自動ドア施工／・ガラス施工／内装工事：・プラスチック系床仕上工事／・カーペット系床仕上工事／・ボード仕上工事作業／・表装（壁装作業）／・畳工／造園：・造園工事作業／カーテンウォール工事：・金属製カーテンウォール工事／外壁改修：・エポキシ樹脂注入／（　　）：・（　　） ※技能士は、職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有するものとする。 ※鉄工技能士は、現場溶接を指定する場合、若しくは現場溶接を行う部分が構造耐力上主要な部分に及ぶ場合に適用する。	（1.5.2）
	● 工事写真等	撮影機材：・フィルムカメラ／・※デジタルカメラ 原版サイズ等：・100×125以上　・（　）以上／・700万画素以上　・（　）万画素以上 写真原版は撮影した業者の保管とする 電子データ：監督職員と協議し、決定したデータ形式をCD－R（DVD）で提出	
	● 完成図等	※作成する　　・作成しない 提出部数は現場説明書による	（1．7．1～3）（表1．7．1）
	15．文化財その他の埋蔵物	文化財保護法第94条による届出対象区域 ・対象区域内　　・対象区域外 上記対象区域内外における試掘調査等に必要な資材及び労務等を提供すること。	（1.1.2）
	● 火災保険等	工事目的物および工事材料等について次により保険に付す。 ●火災保険　　●建設工事保険	
●仮設工事	● 監督職員事務所	●設ける　　※設けない 面積規模（ ●10 ・20 ・35 ・65 ・100）㎡ 程度 監督職員事務所の仕上げ 床：合板張り又はビニル床シート張り 内壁、天井：合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り 屋根：塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	（2．3．1）
	● 工事用水	構内既存の施設　・　利用できる（※有償　・無償）※利用できない	
	● 工事用電力	構内既存の施設　・　利用できる（※有償　・無償）※利用できない	
●土工事	● 埋戻し及び盛土	種別 ・A種　※B種　・C種　・D種 C種の場合（発生場所　　） （連絡先　　） （運　搬　・発生原因者側　・本工事　km ）	（3．2．3）（表3．2．1）
	● 建設発生土の処理	※構外指示の場所　　受入施設名　（　　） 受入場所（　　） 受入場所での処置（・敷きならし　※たい積 ） 搬出距離（　　）km 上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する ●構内指示の場所（・敷きならし　・たい積 ） ・構外搬出適切処理（搬出調書等を提出する）	（3．2．5）
●地業工事	1．試験杭	杭の本数　※最初の1本　・（　　）　※位置は図示による 杭の種類　※本杭と同じ　・（　　） 杭の寸法　長さ（m）※本杭と同じ　・（　　） 断面寸法 ※本杭と同じ　・（　　）	（4．2．2）
	2．施工機械の為の平板載荷試験	・行う　　※行わない	（4．2．4）
	3．既製コンクリート杭地業	・種類 種類の記号：PHC杭 規格、材質など：JIS規格品 ・A種 ・B種 ・C種 長さ（m）／断面寸法／継手：・なし／・あり 継手形状：ー／※溶接継手 ・無溶接継手 杭の工法 ・打込み工法 長期設計支持力　（　　）KN／本 ※プレボーリング併用打撃工法 プレボーリングの掘削深さ及び径　深さ（　）m　径（　） 杭打機　※油圧パイヴハンマー　・（　　） 推定支持地力の算定方法　※JISA7201を参考にする 杭の水平方向の位置ずれ　・（　）mm以下　・図示による ・セメントミルク工法 支持地盤　※図示 ※ドロップハンマーによる軽打　・（　　） 杭先端部形状　※閉そく形 アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・（　）m　・図示による 杭の支持地盤への根入れ深さ　・（　）以上　・図示による 杭の水平方向の位置ずれ　・（　）mm以下　・図示による ・特定埋込杭工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 ［工法の条件］ 国土交通省告示第1113号第6号に定める地盤の許容支持力式の内 α、β、γが下記の値をとれる工法とする　支持地盤 （固結シルト、砂礫） α＝（　）、β＝（　）、γ＝（　） 杭周固定液　※認定条件による　・使用する　・使用しない 杭先端部形状　※認定条件による 支持地盤　※図示 ※杭工事の際に杭周固定液に使用されるセメントミルクが周囲に流出しない様、対策を行う。 杭周固定液の汚泥処理は産廃処理となる場合があるので監督員と協議する。 杭の水平方向の位置ずれ　・（　）mm以下　・図示による 継手の工法　・図示による 杭頭の処理方法　・図示による	（4．3．1）（4．3．2）（4．3．6） （4．3．3） （4．3．4） （4．3．5）
	4．場所打ちコンクリート杭地業	帯筋　・H型　・W－1型　・SP型　・丸型 鉄筋の最小かぶり厚さ　・（　）mm以上　・図示による セメントの種別　※ G 高炉セメントB種　・（　　） コンクリートの種別　・A種　・B種 設計基準強度　（　　）N／mm² 構造体コンクリート強度と供試体の強度の差を考慮した割増し ・3N　・（　）N 掘削工法 ・アースドリル工法　（※ 安定液使用　・無水掘削 ） ・オールケーシング工法 （孔内の水張 ・行う　・行わない ） ・リバース工法 ・（　　）	（参2．2 4．5．3） （4．5．3） （4．5．3） （表4．5．1） （4．5．4）（4．5．5）
	5．試験掘	※有　孔径についてはオーガー径とする	
	● 砂利及び砂、地業	材料　※●再生クラッシャラン　・砂利　・砂　・（　　） 厚さ　※60　・（　）	（4．6．2～3）
	● 捨てコンクリート地業	厚さ　※50　・（　）	（4．6．4）
	● 床下防湿層	※ポリエチレンフィルム　厚さ ※0．15 ・（　　） 適用箇所 ※二重スラブ以外の接地階の床下	（4．6．5）
●鉄筋工事	● 鉄筋の種類	・図示 種 別：SD295A／SD345／SD390 径：D16以下／D19以上	（5．2．1）
	● 鉄筋の継手	D19以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　・その他の継手	（5．5．2）
	● 溶接金網	網目の形状、寸法および鉄線の径 網目の形状、寸法（たて×よこ）：※100×100 鉄線の径又は呼び（mm）：※6．0 規格：JIS G 3551による	（5．2．2）
	● 鉄筋のかぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する 耐久上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さの割り増し　・　行わない ・　行う（下記による） 施工箇所：柱、梁、壁及び底などの外気に　接する打ち放し面／躯体 表5．3．6の値に加える寸法（mm）：※10	
	5．杭頭の補強方法	・図示による	
	● 帯筋	形の種類　※H形　・W－I形　・SP形 ・（　　）	（参 2．2）
	● 壁開口部の補強	一般壁　・A形　※B形　・図示 耐震壁　・図示による	（参4．4　表4．3 表4．4）
	● 土間スラブ打継ぎ補強	※入れる	（参 5．7）
	● 土間コンクリート補強	※入れる 補強箇所　※土間コンクリート ・犬走り ・（　　）	（参 5．7 図 5．11）
	10．梁貫通孔	補強形式　※H形 ・MH形 ・M形 （既製品による補強の場合は監督職員の承諾を得ること）	（参7．2 表7．1～表7．3）
	11．圧接完了後の検査	検査方法　※超音波探傷試験　・引張試験	（ 5．4．9）
●コンクリート工事	● 設計基準強度	●図示による	（6.1.4）
	● レディーミクストコンクリート類別	※ Ⅰ類　　・ Ⅱ類	（6．1．5）（表6．1．1）
	● 気乾単位容積質量	●2．2～2．4t／m3　・（　　）t／m3	（6.2.2）
	● 単位水量の測定	●行う　（部位：躯体コンクリート ）	（6.4.6）
	5．コンクリートの仕上り	種別：・A 種／・B 種／・C 種 適用箇所：防水立ち上がり、防水押えコンクリート立ち上がり／見え掛かりのスラブ	（6.2.5） （表6．2．3）
	● セメントの種類	●普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種 ●高炉セメントB種　（部位： ※基礎、地中梁、捨コンクリート） ・（　　） 上記普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210（ポルトランドセメント）に示された規定の他、右表の規定に適合しなければならない。全アルカリ算出は、JIS R5210ポルトランドセメント（低アルカリ形）による 水和熱（J／g）：7日 352以下／28日 402以下	（表6．3．1）（6．3．2）（6．16．2）
	● 骨材の種類	砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分（JIS A 5308） ※A　・B 砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分（JIS A 5005） ※A　・B	（6.3.3） （6.3.3）
	● 混和材料	・混和剤　種類（　　） ・混和材　種類（　　）	（6．3．5）（6．4．8）（6．15．3）
	● 打継ぎ	打継ぎ目地の寸法　※ 標準仕様書（9．6．3）による　・（　）mm	（6．8．1～6．8．4）
	10．暑中コンクリート	構造体強度補正値S　※ 6N／mm2　・（　）N／mm2	（6．8．1～6．8．4）
	● 型枠	外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ （仕上塗材、塗装等の仕上げを行う場合を含む）　※20mm　・（　）mm ひび割れ誘発目地の形状、寸法　※標準仕様書（9．6．3）による ・図示による	（6.9.2）
	12．無筋コンクリート	設計基準強度 （N／㎟　※18 ・（ ） スランプ（cm）　・15　・18　・（ ）	（6.14.1 6.14.2）
	13．打継止水材	適用箇所　※EVピット　・（　　）　配管ピット 材質　水膨張性コンクリート打継止水材 寸法 w（ ）×t（ ）	
	● 構造体コンクリートの強度試験	構造体コンクリートの材齢28日の圧縮強度試験は大分県土木建築部が指定する品質管理試験を行う試験場とする。	（6．10．1～6．10．6）
●鉄骨工事	● 鉄骨の製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の45第1項に基づく国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鋼構工業協会の「鉄骨制作工場の性能評価基準」に定める下記グレードとして国土交通大臣から認可を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 （ R ）グレード ・監督職員の承諾する工場	（7.1.3）
	● 施工管理技術者	適用　●する　・ しない	（7．1．4）（7．6．2）（7．12．2）
	● 鋼材の種類	鋼材の材質 種類の記号／使用箇所／規格等：※JIS規格　・／※JIS規格　・／※JIS規格　・／※JIS規格　・／※JIS規格　・／※JIS規格　・	（7．2．1）（7．2．10）（表7．2．1）
	● 高力ボルト	※トルシア形高力ボルト ・JIS型高力ボルト ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト セットの種類（　　）　・図示による（　　） 高力ボルトの径　・図示による（　　） ボルトの縁短距離、ボルト間隔、ゲージ等 すべり係数試験　※行わない　・行う（試験方法等　　）・図示による（　　）	（7．2．2）（7．12．4）

年 度	設計年月	工事名	代表となる設計者	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.5	（有）鈴木養鶏場　鶏舎新築工事 （10号棟鶏舎）	一級建築士 大臣登録 第 181377 号　本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 04Z－12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	特記仕様書（1）	――	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号　本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地　TEL（0977）75－0887	A－01
			その他の 設計者				

●鉄骨工事

● アンカーボルト

・構造用アンカーボルト（材質　※SNR400B　・SS400）　(7. 2. 4)(表7. 10. 1)
適用箇所(　　)
・建方用アンカーボルト（材質　・SNR400B　※SS400）
保持及び埋の込み工法(・A種　・B種　・C種)

● ターンバックル

ターンバックル胴の種類　※割枠式　・(　　)　(7.2.6)
ターンバックルボルトの種類　※羽子板ボルト・(　　)

7. デッキプレート

※　図示による　(7.2.7)

8. スカラップ
エンドタブの切除

※　図示による　(7. 6. 7)

● 柱底均しモルタル

工法　※A種(無収縮モルタル)　・B種　(7.2.9)(7.10.3)
品質　表7. 2. 6による　(表7. 2. 6)(表7. 10. 2)

● 工作一般

高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ボルト間隔、縁端距離等　(7.3.2)
は特記なき場合「建築鉄骨設計基準」による
開先の形状及び寸法は、特記なき場合「建築鉄骨設計基準」による　(7.6.4)

● 溶接接合

● 溶接部の試験

(7. 6. 11)(表7. 6. 2)(表7. 6. 3)(表7. 6. 4)

試験の種別	試験箇所	抜取方法		備考
		AOQL	検査水準	
※超音波探傷試験	※完全溶込み溶接部 ・(　　)	・2. 5% ※4. 0%	※第6水準 ・(　)	

13. 耐火被覆

種別　(　　)　(7.9.1)
所定の性能　・30分耐火　・1時間耐火　・(　　)

14. 鉄の亜鉛めっき

(7. 12. 3)(7. 12. 4)(14. 2. 3)(表14. 2. 2)

亜鉛めっき種別	材料	適用部位
A種	最小板厚6mm以上の形鋼、鋼板類	
B種	最小板厚3. 2mm以上、6mm未満の形鋼、鋼板類	
C種	最小板厚1. 6mm以上、3. 2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト、ナット、アンカーボルト	

摩擦面処理
※ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法
※すべり耐力試験方法等　※図示　・(　　)

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1. 補強コンクリート
ブロック造

種類　※JIS　A5406　の空洞ﾌﾞﾛｯｸ 16　・(　　)　(8.2.2)
厚さ　・120　※150

2. コンクリート
ブロック帳壁及び塀

(8. 3. 2)
種類　※表8. 3. 1による　・(　　)
工法　コンクリートブロック積帳壁の積高さは、
壁厚の25倍かつ3500以内とし、その他の部分は同厚の
鉄筋コンクリート造垂壁とする

3. ALCパネル

ALCパネルはJIS　A5416　による　(8. 4. 2)
パネルの種類、単位荷重、厚さ、耐火性能取付工法　(8. 4. 2～7)(表8. 4. 2～3)

パネルの種類	単位荷重(N／㎡)	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能	取付け工法
・外壁パネル				・30分 ・1時間 ・2時間	・A種 ・B種 ・C種
・間仕切壁パネル				・30分 ・1時間 ・2時間	・B種 ・C種 ・D種 ・E種
・屋根及び床パネル				・30分 ・1時間 ・2時間	・F種

外壁パネルの出隅及び入隅パネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅
※20mm　・(　　mm)
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する

4. 押出成形セメント板
(ECP)

押出成形セメント板はJIS　A5441　による　(8. 5. 2～5)(表8. 5. 1～3)

パネルの種類	表面形状	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能	取付け工法
外壁パネル	・F　・F－R ・D　・D－R ・T　・T－R	・60 ・100 ・	・600 ・450 ・	・30分 ・1時間 ・2時間	・A種 ・B種
間仕切壁パネル	・F　・F－R ・	・60 ・100 ・	・600 ・450 ・	・30分 ・1時間 ・2時間	・B種 ・C種

パネル相互の目地幅　※(長辺10mm以上・短辺15mm以上)　・(長辺　　・短辺　　)
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅　※15mm　・(　　mm)

●防水工事

1. アスファルト防水

(9. 2. 3)(表9. 2. 3～表9. 2. 8)

施工箇所	種別	保護層	備考
		※有　・無	
		・有　・無	
		・有　・無	

屋根保護防水断熱工法の断熱材　(9.2.2)
● 材質　押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付き　厚さ　※40　・(　　)
防水立上がり部の保護材　(9.2.2)(9.2.5)
・乾式保護材(性能は建築材料等品質性能表による)
・セメントれんが
・場所打ちコンクリート
・(　　)
防水層下地モルタル　・適用する(施工範囲　・図示　・　　)　(9.2.4)
脱気装置(D－1、D－2工法の場合)
種類　ルーフィング類製造所の指定する製品
数量　ルーフィング類製造所の指定箇所
施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

2. 改質アスファルト
シート防水

(9. 3. 2, 3)(表9. 3. 1)

施工箇所	種別	仕上げ塗料塗り
	・AS－1　・AS－2	※カラー　・シルバー
	・AS－1　・AS－2	※カラー　・シルバー

施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

3. 合成高分子系
ルーフィング
シート防水

(9. 4. 2, 3)(表9. 4. 1)

施工箇所	種別	仕上げ塗料塗り
	・S－F1　・S－M1	※カラー　・シルバー
	・S－F2 ・S－M2　・S－M3	

施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

4. 塗膜防水

(9. 5. 3)(表9. 5. 1)(表9. 5. 2)

施工箇所	種別	仕上げ塗料塗り(露出の場合)
	・X－1　・X－2	※カラー　・シルバー
	・Y－1　・Y－2	

・Y－2工法における工程4, 5　・適用する　※適用しない
・脱気装置(X－1工法の場合)
種類　主材料製造所の指定する製品
数量　(　　)箇所
施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

● シーリング

(9.6.1)

施工箇所	種別	

表9. 6. 1による(カーテンウォール工法を除く)
接着性試験　※簡易接着性試験　(9.6.5)
・引張接着性試験(部位　　)
(9.6.4)

10 石工事

1. 壁及び特殊部位
の石張り

・花こう岩　(10. 2. 1)(10. 7. 2～3)
石の品質　※1等品　床用石材　※　2等品　(表10. 2. 1)(表10. 2. 2)

施工箇所	名称	厚さ	仕上げの種類	工法
				・乾式　・湿式
				・乾式　・湿式
				・乾式　・湿式

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げ　※有　・無　(表10. 2. 1)
・大理石　(表10. 2. 1)
石の品質　※1等品　(10. 2. 1)(10. 7. 2～3)(表10. 2. 2)

施工箇所	名称	厚さ	仕上げの種類	工法
			※本磨き　・(　　)	・内壁空積
			※本磨き　・(　　)	

外壁湿式工法のドレンパイプ　(10.2.3)
・設けない　・設ける(樹脂ネットパイプ径30程度クロスメッシュ巻き)
乾式工法用金物　(10.2.2)
・スライド方式　・ロッキング方式

2. 床及び階段の石張り

石の品質　※2等品　(10. 6. 2～3)(表10. 2. 1～2)

施工箇所	名称	厚さ	目地幅	仕上げの種類	備考
男子トイレ	御影石	25		※本磨き　・(　　)	
				※粗磨き　・(　　)	

3. あと施工アンカー

材質・寸法　※図示　(10.2.2)
引抜き耐力確認試験　※行う　・行わない　(10.2.2)
・設計基準強度(　　)N／mm²

4. 目地シーリング

湿式工法　(目地幅　※6　・　　)　(10. 3. 3)(10. 5. 3)(表9. 6. 1)
乾式工法　(目地幅　※8　・　　)

5. 石裏面処理

※内部の幅木部分(H＝200まで)及び湿式工法の全ての部分　(10.3.2)(10.6.2)(10.7.2)

6. 裏打ち処理

※行う　・次の箇所には行わない(　　)　(10.2.3)(10.3.2)(10.7.2)

7. 石裏の補強用モルタル

笠木、甲板等で乾式工法の場合は行う　(10.7.3)

8. 清掃

屋内床用汚れ防止及びつや出しワックス　※使用する　(10.1.5)

9. 製造所及び施工業者

・監督職員の承諾による　・右記による(　　)

11 タイル工事

1. 陶磁器質タイル張り

タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状・寸法	きじの質			うわぐすり		役物	色		備考
		磁器	せっ器	陶器	施釉	無釉	有	特注	見本焼	
玄関ポーチ	300角	○					○			
玄関	300角	○								

壁タイル張りの工法　(11. 3. 3)(表11. 3. 2)
内装タイル
※壁タイル接着剤張り
・有機質接着剤(タイプⅠ)　施工箇所(　　)
※有機質接着剤(タイプⅡ)　施工箇所(便所、湯沸室　)
・改良積上げ張り
外装タイル、ユニットタイル　(11. 3. 3)(表11. 3. 2)
・後張り工法
躯体は、外部側に20mmの増打ちを行う。

	タイル形状・寸法	躯体表面	工法
外装タイル	・小口 ・二丁掛 ・	・MCR工法又は 目荒し(高圧水洗)工法 ・	※密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り
外装ユニットタイル	・50二丁 ・	・	・マスク張り ・モザイクタイル張り

12 木工事

● 階段滑り止め
※磁器(　　)・(　　)
既成調合モルタル
(性能は建築材料等品質性能表による)

・試験張り　※行う　行わない　(11.2.1)

・見本焼　※行う　行わない

1. 表面仕上げ

適用箇所	種類
	・A種
	※B種
	・C種

(12.1.1)(表12. 1. 1)

2. 含水率

部材	種別	
構造材	※A種	・B種
下地材	※A種	・B種
造作材	※A種	・B種

(12.2.1)(表12. 2. 1)

3. 木材

保存処理木材　・適用する(適用箇所:　敷土台等　(12.2.1)
(現場加工した箇所には木材保存剤を塗布する)

4. 木材樹種

代用樹種を適用しない箇所(　　)　(表12. 2. 3)

5. 集成材等

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外品　・第三種品　(12.2.2)
・構造用集成材

施工箇所	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種名	寸法(mm)
		・1種　※2種　・3種			

・構造用単板積層材　(12.2.2)

施工箇所	接着性能	樹種名	曲げ性能	水平せん断性能	寸法(mm)

・造作用集成材　(12.2.2)

施工箇所	見付け面材の品質	樹種名	寸法(mm)
	※1等　・2等		

・化粧ばり造作用集成材　(12.2.2)

施工箇所	見付け面材の品質	心材の樹種名	化粧鋼板の樹種名	化粧鋼板の厚さ(mm)	寸法(mm)
	※1等　・2等				

・単板積層材　(12.2.2)

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法(mm)
	・塗装加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)		

6. 床張用合板

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外品　・第三種品　(12.2.3)
・普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面の樹種名	表面の品質	防虫処理	その他の処理
	※5. 5mm ・(　)	※1類 ・2類	・ラワン ・しな	広葉樹　・1等　※2等 針葉樹　※C－D	・する ・しない	※難燃処理 ・防炎処理

・構造用合板　(12.2.3)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	有効断面係数比	表面の樹種名	表面の品質	防虫処理
	※5. 5mm ・(　)	・特類 ※1類	・1級 ※2級			※C－D	・する ・しない

・天然木化粧合板

施工箇所	化粧単板の樹種名	単板厚さ(mm)	板厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理	その他の処理
	・なら ・しおじ	※0. 3未満 ・(　)	※4. 2 ・3.2 ・6.0	・1類 ※2類	・する ・しない	※難燃処理 ・(　　)

7. 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする　(12.2.6)
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂
又はホルムアルデヒド系防腐剤(以下ユリア樹脂という)を用いた
接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外品　・第三種品

8. 防腐・防蟻処理

防腐処理　※行う　(適用範囲は、(12. 2. 8)による　)　(12.2.8)
防蟻処理　・行う　(適用範囲　)　(12.2.9)
表面処理用木材保存(防腐、防蟻)剤はクロリピリホスを含有しない薬剤とし
監督員の承諾するものとする

●屋根及びとい工事

● 長尺金属板葺

(13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1)

長尺金属板の種類	板厚	屋根葺き形式
・塗装溶融55%アルミニウム ～亜鉛合金めっき鋼板 (CGLCCR－20－AZ150) ・	※0. 4 ・(　)	

下葺材料　※アスファルトルーフィング940
下記に示す製造所の参考商品(工法)程度とする
(　　)
● 両面カラーガルバリウム鋼板(ソフランウィズ　ガルダン同等品)　t＝0. 35　厚50mm
芯材:硬質ウレタンフォーム

2. 折板葺

(12.3.2)

材種	形状による区分	山高及びピッチ	板厚
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・	・重ね形 ・はぜ締め形	山高(　　)程度 ピッチ(　　)程度	

・軒先面戸板　(・換気面戸)　材種(　　)
・断熱材　種別(　　)
・防火性能　30分耐火
下記に示す製造所の参考商品(工法)程度とする
(　　)

3. とい

種別	材種	径	施工箇所	備考
たてどい	・配管用鋼管			
	・ステンレス鋼管			SUS304　厚2
	・硬質塩化ビニル管(・カラー)			
	・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管G　□			
軒どい	・			

とい受金物　※ステンレス製　・鋼製(亜鉛めっき)　(13. 5. 2)(表13. 5. 2)
防　露　※施工箇所は表13. 5. 5による　(13. 5. 3)(表13. 5. 4)
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外品　・第三種品

4. ルーフドレン

材質　表13. 5. 1による

●金属工事

1. ステンレス表面仕上げ

※HL　・(　　)　(14.2.1)(13.5.2)

●鉄鋼の亜鉛めっき

(14. 2. 3)(表14. 2. 2)

施工箇所	亜鉛めっきの種別	備考
	・A種　・B種　※C種	
	・(　)種	

●軽量鉄骨壁下地

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔(屋外)　(14.4.3)
・900程度　・(　　)
野縁の間隔(屋外)　(14.4.4)
・300程度　・(　　)
天井のふところが3mを越える場合　(14.4.4)
・施工箇所　・図示　・(　　)
・補強方法　・図示　・(　　)
屋外の耐震補強　・行う　※行わない
施工箇所　・図示　・(　　)
補強方法　・図示　・(　　)
耐風圧性を考慮した補強　・行う　※行わない
施工箇所　・図示　・(　　)
補強方法　・図示　・(　　)

●金属成形板張り

(14.6.2)(14.6.3)

材種	・アルミニウム　・(　　)	
製法	※押出し　・プレス　・ロール	
寸法	板幅　※100　・(　)　板厚　※1. 0　・(　)	
形状	※図示	
表面処理	・A－1種　・A－2種　・B－1種　・B－2種　・(　　)	

伸縮調整継手　・設ける　・設けない

5. アルミニウム笠木

(14. 7. 2)(表14. 7. 1)(表14. 2. 1)

施工箇所	種類	製品幅	呼称肉厚	表面処理	備考
	・押出し250形	※260～240	※1. 6以上	※A－1種 又はB－1種 ・(　　)	
	・押出し300形	※300	※1. 8以上		
	・押出し350形	※350	※2. 0以上		
	・(　　)	・(　　)	※2. 0以上		
	・板材折曲げ形	・(　　)	※2. 0以上		

棟上避雷導体システム　・無　・有(実厚2. 0以上)

6. 手すり・タラップ

材質　※ステンレスSUS304　仕上げは＃400程度　(14. 8. 2, 3)
・(　　)

●左官工事

1. 防水モルタルの
防水剤及び吸水調整材

性能は建築材料等品質性能表による　(15.2.2)

2. 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの
放散量　※規制対象外品　・(　　)
・屋内の壁及び天井の仕上げ塗材は、建築基準法に基ず く防火材料の
認定又は指定を受けたものとする
適用範囲外(　　)

・薄付け仕上塗材　(15. 5. 2)(15. 5. 6)(表15. 5. 1)

呼び名	防火材料の指定の有無 防火材料の指定の区分		仕上げの形状	工法	備考
・外装薄塗材E	・有 ・無	・不燃 ・準不燃 ・難燃	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	吹付け	
・内装薄塗材E	・有 ・無	・不燃 ・準不燃 ・難燃	・砂壁状じゅらく ・凹凸状	吹付け	
・可とう形外装薄塗材E			・砂壁状		

・複層仕上塗材　(15. 5. 2)(表15. 5. 1)(15. 5. 6)

呼び名	防火材料の指定の有無 防火材料の指定の区分		仕上げの形状	工法	上塗材(水系)		耐候性
・複層塗材CE ・複層塗材Si	・有	・不燃 ・準不燃 ・難燃	・凸部処理 ・凹凸模様	吹き付け	※アクリル系 ・ポ゛リウレタン系 ・アクリルシリコン系	※つやあり つやなし	
・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS	・無		・ゆず肌状	ローラ塗り	・ふっ素系 ・シリカ系	つやなし	耐候性※3種
・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・無		・凸部処理 ・凹凸模様	吹き付け	※アクリル系 ・ポ゛リウレタン系 ・アクリルシリコン系	つやあり	・(　　)
			・ゆず肌状	ローラ塗り	・ふっ素系		

年度	設計年月	工事名	
30	30.5		(有)鈴木養鶏場　鶏舎新築工事 (10号棟鶏舎)

代表となる設計者　一級建築士　大臣登録　第　181377　号　本多　洋一
本多設計一級建築士事務所　大分県知事登録　第　14Z－12671　号
大分県杵築市山香町倉成573番地
その他の　設計者

図面名称	縮尺
特記仕様書(2)	――

建築士法第20条第1項に基づく表示
HONDA
本多設計一級建築士事務所
1級建築士登録第181377号　本多洋一
大分県杵築市山香町倉成573番地　TEL(0977)75－0887

A－02

・軽量骨材仕上塗材　（15. 5. 2）（表15. 5. 1）（15. 5. 6）

呼び名	防火材料の指定の有無 防火材料の指定の区分		仕上げの形状	工法	備　考
・吹付用軽量塗材	・有 ・無	・不燃 ・準不燃 ・難燃	砂壁状	吹付け	
・こて塗用軽量塗材	・有 ・無	・不燃 ・準不燃 ・難燃	平たん状	こて塗り	

3. ロックウール吹付け　（15. 7. 2～3）

色　彩	吹付け厚さ	備　考
・着色　・原色	・10　・15　・20　・（　）	

●建具工事

1. 防犯建物部品　・適用する　（16.1.16）
適用箇所　・図示

2. アルミニウム製建具　（16. 2. 2～4）（表16. 2. 1）

建具性能等	外部に面する建具	内部建具
・サッシ性能等	・A種　・B種　・C種	
・防音サッシ	遮音性の等級（　　）	
・断熱サッシ	断熱性の等級（　　）	
表面処理	・A－1種　・A－2種　※B－1種　・B－2種	※C－1種　・C－2種

・網戸
※外面納まりの可動式　・（　　）　（16. 2. 3～4）
網の種類　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製　・合成樹脂性

3. 鋼製建具　（16. 3. 2, 6）（表16. 2. 1）（表16. 3. 1, 2）

種　別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼板類の厚さ
・標準型建具	・表16. 3. 1を適用する ・適用しない	・S－4 ・S－5	
・標準型建具 以外の建具	・表16. 3. 1を適用する ・適用しない	・S－4 ・S－5	※表16. 3. 2による ・適用しない（図示）

4. 鋼製軽量建具　（16. 4. 2, 3）（表16. 2. 1）（表16. 4. 2）

種　別	簡易気密型ドアセットの気密性の等級		召合せ、縦小口包み板等の材質
・標準型建具	・A－3	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板	・建具製作所の仕様とする
・標準型建具 以外の建具	・A－3	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板	・建具製作所の仕様とする

5. ステンレス製建具　外部に面する建具の耐風圧性　※S－4　・S－5　・S－6　（16. 5. 2～5）
ステンレス鋼板　屋内　※SUS304　・SUS430JIL　・SUS430
屋外　※SUS304　・SUS430JIL
表面仕上げ　※HL仕上げ　・（　　）
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）

●　木製建具　表面材の合板の種類　※普通合板　・（　　）　（16.6.2(b)）
かまち戸の樹種　かまち（　　）鏡板（　　）　（16.6.2(c)）
フラッシュ戸の表面板の厚さ　※表16. 6. 6による　・（　　）　（表16. 6. 6）
ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）及びパーティクル　（16.6.2）
ボード、建築物内部の木製建具に使用する表面材、壁紙施工用及び
建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外品　・第三種品

●　建具用金物　マスターキー　※製作する　・製作しない　（16.7.4）
建具用金物
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする　（16.3.6)(16.4.6）
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける　（16.7.2）
吊金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ

8. 自動ドア開閉装置　開閉装置の性能値　（16. 8. 2～3）
スライディングドア用　※表16. 8. 1による　・図示
スイングドア用　　※表16. 8. 2による　・図示
駆動力　※電気式または電動油圧式　・（　　）
電　源　※単相100V（過電流保護装置付）・（　　）
センサーの種類　※光線（反射）スイッチ　・（　　）
補助センサー　　※安全光線スイッチ1組　・（　　）
各開閉装置毎に補助センサーを設ける

9. 自閉式上吊り引戸機構　性能は表16. 9. 1による　（16. 9. 2～3）（表16. 9. 1）

10. 重量シャッター　（16. 10. 2～4）（表16. 10. 1）

種　類		シャッターケース	指定風圧力	開閉形式	備　考
・一般シャッター		・設ける ・設けない	N／㎡ ・800 ・1200 ・（　）	※上部電動式 （手動併用） ・上部手動式	※危害防止機構 ※障害物感知装置 （自動閉鎖型）
・防火シャッター	・外部用 ・内部用	※設ける			
・防煙シャッター					

電動式の場合の電源　※三相　200V　0. 75kw以下（過電流保護装置付）
・（　　）

●. 軽量シャッター　（16. 11. 2～5）（表16. 11. 1～2）

開閉形式	シャッターケース	指定風圧力	スラットの形状	ガイドレール・座板の材質
※手動式 ・上部電動式 （手動併用）	※設ける ・設けない	N／㎡ ・800 ・1200 ・（　）	※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	※ステンレス（SUS304） ・溶融亜鉛めっき鋼板

電動式の場合の危害防止機構　※有（障害物感知装置自動閉鎖型）
電動式の場合の電源　※単相　100V（過電流保護装置付）・（　　）

12. オーバーヘッドドア　（16. 12. 2～5）（表16. 12. 1～2）

セクション材料の区分	開閉方式によるの区分	耐風圧性能	ガイドレールの材質	収納形式
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラス タイプ	※バランス型 ・チェーン型 ・電動型	・50 ・75 ・100 ・125 ・（　）	※ステンレス鋼板 （SUS304） ・溶融亜鉛めっき鋼板	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形

電動式の場合の危害防止機構　※有（障害物感知装置自動閉鎖型）
電動式の場合の電源　※単相　100V（過電流保護装置付）・（　　）

13. ガラス・ガラスブロック　※建具表による　（16. 13. 2～5）
・ガラスブロック　　標仕16. 13. 5による　（16.13.5）

14. ガラス留め材　※建具表による　（16. 13. 2）（16. 13. 3）（表16. 13. 1）

15. ガラス用フィルム　下記に示す製造所の参考商品程度とする
（　　）

16. 衝突防止表示　形状、寸法、材質　※図　示　（20.2.10）

17. 鍵箱　形式　・30本入（　個）・60本入（　個）・120本入（　個）・　本入（　個）
鋼製市販品とし、監督職員の承諾による。

17 カーテンウォール工事

1. 性能　（16.2.2)(17.1.3）

耐風圧性	・S－4（　）	・S－5（　）	・S－6（　）
耐震性 （層間変形角）	※1／200　・（　）		
水密性	・W－4（　）　・W－5（　）		
気密性	・A－3（　）　・A－4（　）		
耐火性	・30分　・1時間　・（　）		
耐温度差性	等級（　）		
遮音性	等級（　）		
断熱性	等級（　）		
性能の確認・判定方法			

2. メタルカーテンウォール

主要構成材料	

（17.2.2）

シーリング材及びガラス留め材
下記以外は表9. 6. 1による

被着体の組合せ			シーリング材の種類	
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石・タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット
※適用しない　・適用する（施工箇所等詳細は図示）

断熱材	

18 塗装工事

●　材料　内部に使用する塗料は、原則水性系のものとする　（18.1.3）
・屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は
認定を受けたものとする
適用範囲外（　　）
建築物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの
放散量　　※規制対象外品　・第三種品

●　塗装
●錆止め塗料塗り　（18.3.2）
・鉄鋼面錆止め塗料　　EP－G以外　※A種1種
EP－G　※B種
●亜鉛めっき面錆止め塗料　EP－G以外　※B種
EP－G　※C種
・耐候性塗料塗り（DP）
・鉄鋼面　（18.7.2）
・1級（フッ素）　・2級（アクリルシリコン）　・3級（ポリウレタンエナメル）
・亜鉛めっき鋼面　（18.7.3）
・1級（フッ素）　・2級（アクリルシリコン）　・3級（ポリウレタンエナメル）
・コンクリート面及び押出成形セメント板　（18.7.4）
・A種　・B種　・C種

●内装工事

1. 接着剤　壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外品　・第三種品

2. ビニル床シート　（19.2.2)(19.2.3）

種　類	色　柄	厚　さ	工　法	備　考
JIS　A　5705のNC	・無地 ※模様	・2. 0 ※2. 5	※熱溶接 ・突付け	

3. ビニル床タイル　（19. 2. 2～3）

種　類	形　状	厚　さ	備　考
※JIS　A　5705のCT ・（　　）	※300角 ・（　）	※　2 ・　3 ・（　）	aによる
・帯電防止ビニル床タイル（置敷タイプ）	・500角	※　4以上	bによる
・帯電防止ビニル床タイル（パネル一体タイプ）	・（　）	・　2	cによる
・耐熱性ビニル床タイル	・木目調 900×100 ・模様450角	・　3	dによる

a. 標準仕様書の規定による品質・規格を満たす材料
b. 帯電性JISL1023による人体耐電圧　0. 5kv以下　　模様入り
帯電防止ビニル床タイル（置敷タイプ）の接着剤は粘着はく離形とし、
製造所の指定する製品とする
c. 帯電性JISL1023による人体耐電圧　1. 0kv以下
d. 下記に示す製造所の製品程度とする

製　造　所	参　考　商　品　名

4. 帯電防止床タイル張り　（19.2.2）

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値（JIS　K　6911による） 1. 0×10^10　Ω以下、または、 漏えい抵抗値（JIS　A　1454による） 1. 0×10^10　Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	※4. 0又は4. 5	

5. ビニル幅木　（19.2.2）

材　種	厚　さ	高　さ
※軟質　　・硬質	※1. 5以上	※60　・75　・100

6. カーペット敷き　・タイルカーペット　（19. 3. 2～4）（表19. 3. 1～2）

種別	パイルの形状	寸　法	総厚さ	色　柄	備　考
※第一種	※ループパイル ・カットパイル	※500角 ・（　）	※　6. 5 ・（　）	※無地 ・柄物	帯電防止及び 防汚加工品

7. 合成樹脂塗床　（19. 4. 2～3）（表19. 4. 3～7）

種　別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗床材	・平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
※エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ　・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ　・防滑仕上げ

建物用床塗料　　JIS　K　5970　による
塗料のホルムアルデヒド放散量　　※規制対象外品　・第三種品

8. フローリング張り　（19. 5. 2～7）（表19. 5. 1～4）

種　別		樹　種	工法及び寸法	塗　装
単層				・無塗装品
複合	※複合1種フローリング ・（　　）	※なら程度 ・（　）	※釘留め工法 ・A種　※B種　・C種 ・接着工法	※塗装品

ホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外品　・第三種品

9. 畳敷き　（表19. 6. 1）

種別	・A種　・B種　※C種　・D種　（・KT－Ⅰ　・KT－Ⅱ　・KT－Ⅲ　・KT－K　・KT－N）

10. せっこうボード
その他ボード張り　（19.7.2）

材　種	種　別	目地処理工法	厚　さ	備　考
●せっこうボード（壁）	（GB－R）	・突付け （ベベルエッジ） ※継目処理	※　12. 5	※910×2730 ・910×1820
・化粧せっこうボード	・トラバーチン模様（GB－NC） ・木目模様 （裏桟付）（GB－D）	※突付け ※目透し	※　9. 5 ※　9. 5	防火認定は不燃とし寸法は ※450×910　・910×910 防火認定は準不燃とし専用 軽鉄下地材付き
・ロックウール化粧吸音板	DR	・突付け	・　9 ※　12 ・　15（凹凸）	不燃 ※300×600 ・455×910
●無石綿けい酸カルシウム板（0.8FK）		・突付け ●目透し	※6　・8 ・10　・12 ・（　）	ノンアスベスト
・木質系セメント板（CE板）	・硬質木毛セメント板（HW） ・普通木毛セメント板（NW）		・　20 ※　25 ・　30	難燃木毛セメント板の材種は JIS規格品（難燃2級品） 又は建設省防火認定準不燃 第2031号の認定品とする

・強化せっこうボード　耐火の個別認定を取得したもの
・1時間耐火　・2時間耐火　・（　　）
遮音シール材　※アクリル系又はウレタン系シーリング材　（19. 7. 2）（表9. 6. 1）
・ジョイントコンパウンド（JIS　A6914）

11. 合板張り　ホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外品　・第三種品　（19. 7. 2～3）（表19. 7. 3）
●普通合板

施工箇所	表板の樹種名	板面の品質	板厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理	その他の処理
腰壁	・ラワン ・しな ・（　）	広葉樹 ・1等　※2等 針葉樹 ※C－D　・（　）	※5. 5 ・（ 4, 3	・1類 ※2類	・する ・しない	※難燃処理 ・防炎処理

・天然木化粧合板

施工箇所	化粧単板の樹種名	単板厚さ（mm）	板厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理	その他の処理
	・なら ・しおじ	※0. 3未満 ・（　）	※4. 2 ・3. 2 ・6. 0	・1類 ※2類	・する ・しない	※難燃処理 ・（　　）

12. 壁紙張り　ホルムアルデヒドの放散量　（19.8.2）
※規制対象外品　・（　　）

施　工　箇　所	種　類				防火性能（下地込）	参考商品名
	ビニル	織物	無機質	（　）		
各室壁	○				・不燃 ●準不燃	
					・不燃 ・準不燃	
					・不燃 ・準不燃	

●　断熱材　フェノールフォームのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外品　・第三種品
・打込み断熱材　（19.9.2）

材　種	種　類	厚　さ
※ポリスチレンフォーム保温板	※B類2種b　・（　） ・B類3種b（接地部分）	※25　・（　） ・（ 20 ）
●硬質ウレタンフォーム	・A種　・（　）	・（　）
・フェノールフォーム	・（　）	・（　）

施工箇所
・床版（ ・屋根スラブ下　・接地床（7－01－2）・図示）
・壁　　・外壁内側部分（7－01－2）但し、下記を除く
倉庫　便所　設備室　湯沸室　車庫　書庫　（　）
・（　　）
現場発泡断熱材（A種1）　（19.9.3）

難燃性	厚さ（mm）	施　工　箇　所
難燃性を 有すること	・ 25 ・（ 35,20	※窓廻り等の断熱材補修部分、ループドレン廻りの床版下等、 部分的に後張りとしなければならない箇所 ・（ B種：屋根スラブ下、外壁廻り　）

14. 吸音材　JIS　A　6301　による

材　種	品　質　・　規　格	厚　さ	備考
※グラスウール吸音材	グラスウール吸音ボード （GB－B)32K ガラスクロス額縁張	※25　・（　）	
・ロックウール吸音材	ロックウール吸音ボード （RW－B）1号	※25　・（　）	

ガラスクロス張りグラスウール吸音ボード（910×1820）の取り付け工法
ポリプロピレン及びプラスチックファスナー留め（@300程度）

15. 床下地材　※発泡プラスチック系床下地材
（JIS　A　9511によるビーズ法ポリスチレンフォーム）

施　工　箇　所	厚　さ
畳　下　地	・40　・50　・65　・80
フローリング類下地	・80　・95

・乾式遮音二重床用床下地材（樹脂製支柱式）
BL認定及び都市基盤整備公団で規定する遮音性能を有するもの。

床仕上げ高さ	遮音性能	
・150　・180　・（ 190）	軽量床衝撃音	※LL－45　・LL－50　・（　）
	重量床衝撃音	・LH－45　※LH－50　・（　）

16. メラミン樹脂化粧板　JIS規格品（JIS　A　5703）　厚さ　●3. 0　・（　　）

17. 化粧塩ビシート　下記に示す製造所の商品程度とする

製　造　所	参　考　商　品　名

18. システム天井

種　別		Tバーの材質	備　考
・ラインタイプ	・シングル ・ダブル	・アルミニウム製 ・鋼製	
・ロ型タイプ			

下記に示す製造所の商品程度とする
（　　）

19. 浴室天井材

材　質	幅	備　考
※硬質塩ビ製 ・アルミニウム製（準不燃品） ・（　　）	※300 ・100 ・（　）	断熱材を裏打ちしたもの 付属品の材料は主製造所の 仕様による

20 ユニット及びその他工事

1. フリーアクセスフロア　床版から仕上材天端までのす法　（20. 2. 2）
※100　・120　・（　　）
表面仕上げ材　　※タイルカーペット
・帯電防止ビニル床タイル
（・置敷タイプ　・パネル一体タイプ）
（パネル一体タイプ以外の仕上げ材は
別途内装工事とする。）
床パネルの材質　　※アルミ合金ダイカスト製、スチール製又は複合材等
・（　　）
端部、スロープの材質　※製造所による　　・図示
床パネルの寸法　　※450角以上600角以下　・（　　）
適用地震時水平力　　1階及び地階　　※0. 6G以上
中間階（　～　階）　※　0. 6G以上　・1. 0G以上
最上階（　階）　※　1. 0G以上
耐荷重性能（N）　　※3000　　・5000
5000Nについては、平成元年建設省告示第1322号
「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設
技術評価において評価を取得したもの又は同等
以上のものとする
ローリングロード性能　・適用する　　適用室

ローリングロード試験
3, 000N：積載荷重1000N時において、最大変形量1. 5mm以下
（使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと）
空調用孔明パネルの枚数及び材質等　（　　）
・2重床用複合アウトレット用開口
開口の数　　フロア面積8㎡につき1箇所
適用室　　かつ予備開口を14㎡につき1箇所

開口の大きさ

コンセント（電源）：2P15A接地極付×2
情報用モジュラージャック（電話）：8極8芯×1
の入ったアウトレットが納まる大きさ

2重床用複合アウトレットの取付方法は、フリーアクセス
フロア製造所の仕様とする
2重床用複合アウトレット以外に、フリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り
出し開口を全パネルの半数以上に有すること。ただし、仕上材をビニル床タイル（パネル
一体タイプ）とする場合は（　）箇所とする特記以外の仕様は製造所の仕様とする

年　度	設計年月	工事名		代表となる設計者	図　面　名　称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.5		（有）鈴木養鶏場　鶏舎新築工事 （10号棟鶏舎）	一級建築士　大臣登録　第　181377　号　　本多　洋一 本多設計一級建築士事務所　大分県知事登録　第　14Z－12671　号 大分県杵築市山香町倉成573番地	特記仕様書（3）	――	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号　　本　多　洋　一 大分県杵築市山香町倉成573番地　　TEL（0977）75－0887	A－03
				その他の　設計者				

20 ユニット及びその他工事

2. 可動間仕切（パーテーション）

JIS A 6512によるもの　（20. 2. 3）

構造形式		表面板及び厚さ	パネル見込み	パネル仕上げ
スタッド式 スタッドパネル式	スタッド 内蔵タイプ	鋼板※7〇. 5以上 ・（　　） GB7〇. 5裏打ちしたもの	※60以上 ・（　　）	※焼付塗装（常備色）程度
・パネル式				
スタッド式 スタッドパネル式	スタッド 露出タイプ	鋼板※7〇. 5以上 ・（　　） スタッド アルミニウム製40角	※30以上 ・（　　）	・（　　）

中心周波数500Hzの音についての透過損失（dB）
●一般タイプ（36未満）　・遮音タイプ（36以上）
ガラス留め材　※ガスケット　・シーリング
●　スライディングウォール　文化シャッター　C－60　同等品

3. 移動間仕切（スライディングウォール）

（20. 2. 4）

操作方法	表面材の材質	仕上げ	パネル見込み	圧接装置の操作方法
・手動式	鋼板	※焼付塗装 ・（　　）	※60程度 ・100程度	プッシュ式または ハンドル回転式

中心周波数500Hzの音についての透過損失（dB）
・一般タイプ（36未満）　・遮音タイプ（36以上）

4. トイレブース

材　種　　表面板　・メラミン樹脂系化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板　（20. 2. 5）
※無地
・柄物（　　）
エッジ、笠木　ステンレス製またはアルミニウム製
形　式　　中心吊、戸当り付
・（　　）
脚部（ステンレス製）　※幅木タイプ　・支柱タイプ

5. 階段滑り止め

※金属製　（20. 2. 6）
材種　　※ステンレス製（SUS 304）
形式　　※樹脂製ゴムタイヤ入り
幅　　※35　・（　）
取付け工法　　接着工法（埋込み式 小ねじ併用）

6. 内部階段手すり　外部階段、廊下

・集成材手すり

形式	径	材　種	仕　上	施工箇所
・1段	・35φ ※45φ	※タモ	※CL	
※2段	※35φ			

・既製手すり（樹脂製）

形式	径	ブラケット	備　考	施工箇所
・〇型（1段）	※40φ	アルミ合金製 （心材共）	指づめ防止材共	
※〇型（2段）	※34φ			

点字表示板（150×100程度）　（　　）箇所
※アルミシート状　プレス点字（階数表示）　厚み 0. 5程度
・塩ビシート状　厚み 0. 2程度

7. 床目地棒

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製　型（幅40程度〇~oア1. 5）
・ステンレス製　4×12　　・黄銅製　4×12

8. 黒板及び　ホワイトボード

（20.2.8）

種　類		使用箇所	色　彩	備　考
●黒板	※ホーロー	児童クラブ室	※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
		事務室・集会室	※緑　・黒	
・ホワイト ボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

9. 煙突ライニング材

煙突用成型ライニング材　適用安全使用温度※400℃　・650℃　（20.2.11）
キャスタブル耐火材　工法　・こて押さえ　・（　　）

10. ブラインド

（20.2.12）

形　式	※横型ブラインド	・縦型ブラインド
開閉方式	※ギア式　・コード式　・操作棒式	※2本操作コード方式
スラットの幅	※25　・35	・80　・100
スラットの材種	※アルミニウム合金製	・アルミニウム合金　・クロス

11. ロールスクリーン

防災性能　※有り　（20.2.13）

操　作　方　式	スクリーンの材種	備　考
※　チェーン式 ・　スプリング式 ・（　　）	※　ポリエステル ・　綿 ・　ガラス繊維	

下記に示す製造所の商品程度とする
（　　）

12. カーテン

（20. 2. 14）（表20. 2. 1）

施工箇所	ひだの種類	形　式		開閉装置			参考商品名
		片引	引分	手引	紐引	（　）	

カーテンレール
材種　※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成形材（アルマイト仕上げ）
・ステンレス製
形状　※角形
・C型又はD型

13. カーテンボックス及び　ブラインドボックス

材質　・木製　・アルミニウム製既製品（※シルバー　・着色）・鋼製

14. コーナービード（壁ボード出隅保護金物）

材質　※アルミニウム押出形材差込型　・（　　）
※シルバー　・焼付　・（　　）
施工箇所　※図示

15. 天井見切縁

材質　※アルミニウム押出形材　・塩化ビニル製
施工箇所　※仕上表による　・（　　）

16. ピクチャーレール

材質　※アルミニウム押出形材　フック 2個／m　耐荷重40kg程度

17. 天井点検口

材質　アルミニウム製（※額縁タイプ　・目地タイプ）

18. 床点検口

材質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

19. 消火器ボックス

※市販品（埋込みタイプ）

材　質	仕　上	寸　法	扉	表　示
※鋼製	※焼付塗装	※W300×H900程度	※有り	※絵・文字表示

20. ステンレス流し台

扉：ウレタン又はメラミン化粧板または化粧パーティクルボード程度
上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付

寸　法	開　戸	引き出し	備　考
・W1200×D550～650×H800	※2枚　・（　）	※3段　・（　）	・片面サイド パネル付
・W1500×D550～650×H800	※3枚　・（　1ト2枚	※3段　・（　）	
・W1800×D550～650×H800	※3枚　・（　）	※3段　・（　）	

・優良住宅部品（セクショナルキッチン）　・（　　）

21. コンロ台

扉：ウレタン又はメラミン化粧板または化粧パーティクルボード程度
テーブルトップはステンレス製、バックガード（※有　・無し）

寸　法	開　戸
・W700×D550～650×H620	※1枚または2枚　・（　1Fはオープン
・W600×D550～650×H620	※2枚　・（　）

・優良住宅部品（セクショナルキッチン）　・（　　）

22. 吊戸棚

扉：ウレタン又はメラミン化粧板または化粧パーティクルボード程度

寸　法	開　戸	棚　板
・W900×D350～450×H500	※2枚　・（　）	※1段　・（　）
・W600×D350～450×H500	※2枚　・（　）	※1段　・（　）

・優良住宅部品（セクショナルキッチン）　・（　　）

23. 水切棚

※既製品　ステンレス製一般型　・（　　）

21. くつふきマット

材種　※ステンレス製ノンスリップ型（縁金物：ステンレス製）
・塩化ビニル製またはゴム製（縁金物：ステンレス製）

22. 視覚障害者用　誘導用床材及び　注意喚起用床材

突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による　（19.2.2）

施工箇所	材質	寸法	備考
	磁器製又はせっ器製	※300角　・（　）	黄色　無ゆう
	塩ビ製	※300角	黄色
	樹脂製点字鋲 （タイルカーペット用）	※300角　・500	黄色（地色黄以色）
	コンクリート製	※300角　〇~oア60	黄色

樹脂系点字鋲の留付は両面から挟込み小フック式
樹脂系点字鋲突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251に準拠する

23. 旗ざお

材　種	形　状	形　式	寸　法	備　考
※アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面	・ロープ式 ・ハンドル式		

24. 旗ざお受金物

材種　※ステンレス製（市販品）（　　組）・（　　）

25. 敷地境界標

・花崗岩（文字入り）
・コンクリートブロック製の市販品程度
・金属製（真ちゅう製50角　アンカー共）

26. 掲示板

屋内

種　類	取付方法	枠の確認	枠の材種	備　考
・ピンレス	・メカー仕様	・図示	・アルミ製	
・ピン、マグネット併用				
・ピン				

屋外　　・照明器具　　有　　無
・施錠　　有　　無

27. 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

28. 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

●排水工事

●　排水管

材種　・遠心力鉄筋コンクリート管　（21. 2. 1）（表21. 2. 1）
●硬質塩化ビニル管（※VP　・VU）
・G　排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS－VU）φ150以下
・G　排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）φ150以下

●　排水ます及びふた

種類

種別	A1	A2	C1	C2	C3	
建築工事 標準詳細図番号	9-14-1	9-14-1	9-14-4	9-14-5	9-14-6	
備考	呼び名300	呼び名360				

注）A2ますは補助側塊付

●　埋め戻し材料

表3. 2. 1「埋め戻し及び盛土の種別」による　※B種　・（　）種

22 舗装工事

1. 路床土

・A種　※B種　・C種　・D種　（表3. 2. 1）

2. 路床の構成及び　仕上り

※図示　（22.2.2）

3. 路床土の支持力比　試験

※行う　・行わない　（22.2.5）

4. 路床締固め度の試験

※行う　・行わない　（22.2.5）

5. 砂の粒度試験

※行う　・行わない　（22.2.5）

6. 路盤材料

・クラッシャランC－40、クラッシャランスラグCS－40
※再生クラッシャランRC－40　（22. 3. 3）（表22. 3. 3）
・（　　）

7. 路盤の締固め度の試験

※行う　・行わない　（22.3.5）

8. アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類　（表22. 4. 6）

一般地域	※　再生密粒度アスファルト混合物（13） ・密粒度アスファルト混合物（13） ・粒度アスファルト混合物（13）

シールコート　※行う　・行わない　（22.4.5）
アスファルト混合物の抽出試験　※行う　・行わない　（22.4.6）

9. コンクリート舗装

溶接金網　※使用する

10. カラー舗装

（22. 6. 2～6）

種　類	区　分	車道部の基底
※加熱系アスファルト混合物 ・常温系樹脂系混合物 ・常温系ニート工法 ・常温系塗布工法	・車道 ・歩道	・有 ・無

11. 透水性アスファルト　舗装

舗装材料及び厚さ　（22. 7. 3～6）
透水性アスファルト混合物等の抽出試験　※行う　・行わない　（22.6.6）

12. 排水性アスファルト　舗装

（22. 8. 3～6）（表22. 8. 2）
アスファルト混合物等の抽出試験　※行う　・行わない　（22.7.6)(22.4.6(C)）

13. ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装　（22. 9. 2～5）
下記に示す製造所の参考商品程度とする
（　　）
・インターロッキングブロック舗装　（22. 8. 2～3）

厚　さ	張り方	色	備　考
歩道部　車道部 ※60　・80	※ヘリンボンボンド ・ストレッチャーボンド ・図示	※標準色 ・特注色	

14. 車止め

車止め用既製コンクリート　W200×L600×H120　小型反射板付き
全面接着アンカー併用固定（彫込み30mm埋込み65mm以上）

15. 路面標示用塗料

路面表示用塗料の種類（JIS K 5665（路面表示用塗料）による）

種類	施工	適用	色	幅	塗布厚さ	揮発性有機溶剤の含有率
・1種	常温	液状	※白	※150 ・100	※1. 0	塗料総質量に対して 5%以下
・2種	加熱					
※3種1号	溶融	粉体状			※1. 5	

●低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

施工箇所
●区画線
●車いす使用者用専用駐車スペース表示（1300角）
・駐車スペースナンバー表示（350角）

23 植栽工事

1. 植栽地の確認

土壌の水素イオン濃度（pH）の試験　・行う　（23.1.3）
水溶性塩類（EC）の試験　・行う

2. 植栽基盤の整備

※行う　（23. 2. 2～3）
有効土層の範囲　※図示
有効土層の厚さ　表23. 3. 1による
工法の種別　表23. 2. 2による
但し現状地盤より高さが上がる場合はD種とする

3. 植込み用土（芝張り部分を除く）

※現場発生の良質土　（23.2.3）
・客土　（H＝300　　）　・図示

4. 土壌改良材

・適用する（施工範囲　※図示）　（23.2.3）
・バーク堆肥
有機物の含有率（乾物）　：70%　以上
炭素窒素比（C／N比）　：35　以下
陽イオン交換容量（乾物）　：70meq／100g　以上
pH　：5. 5～7. 5
水分　：55～65%
幼植物試験の結果　：生育阻害その他の異常が認められない
窒素全量（現物）　：0. 5%　以上
りん酸全量（現物）　：0. 2%　以上
加里全量（現物）　：0. 1%　以上
施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする

・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、食害試験の調査の結果、害が認められないものとする
有機物の含有率（乾物）　：35%　以上
炭素窒素比（C／N比）　：20　以下
pH　：8. 5　以下
水分　：50%　以下
窒素全量（現物）　：0. 8%　以上
りん酸全量（現物）　：1. 0%　以上
アルカリ分（現物）　：15%　以下（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りではない）
施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする

5. 芝張り

種　別　※こうらい芝　・野芝　・（　　）　（23. 4. 2～3）
植込み用土　※客土　〇~oア100　・現場発生の良質土　（23.2.3）

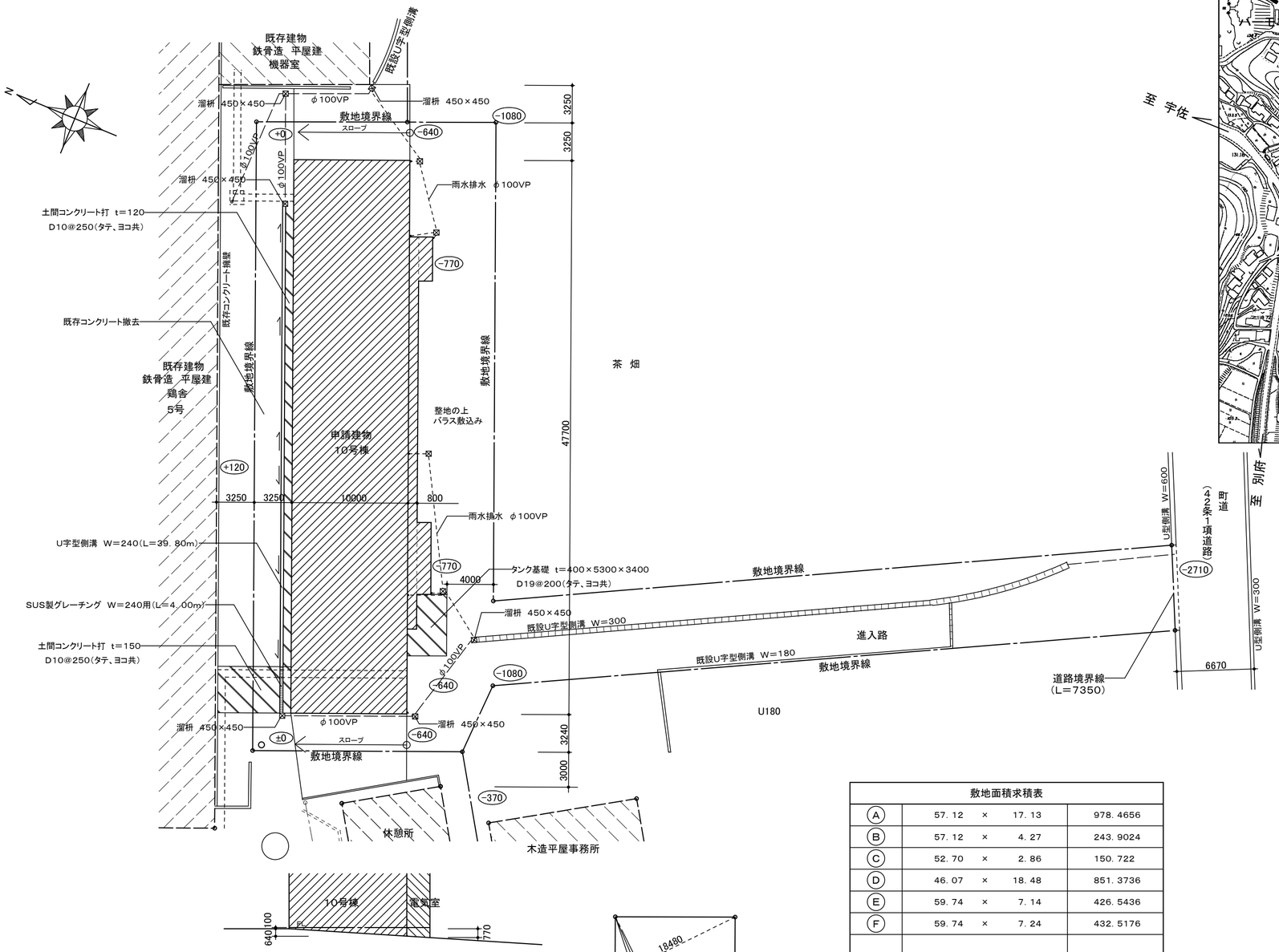
6. 樹木の支柱

図示による　・添え柱　・鳥居形　・ハツ掛け形　・布掛形　（23.3.3）

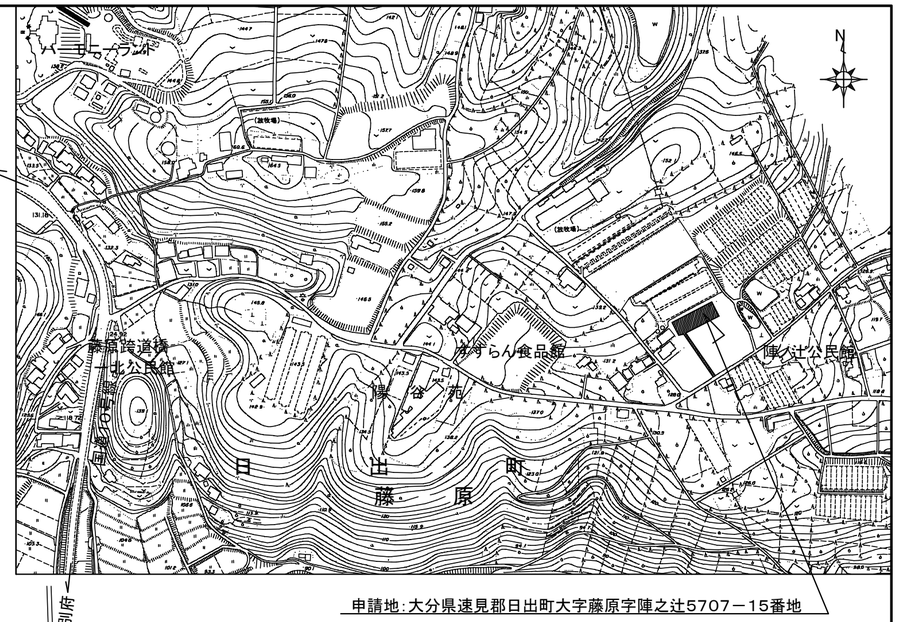
7. 屋上緑化システム

植栽基盤及び材料　（23.5.2）
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成型品
植込み用土　※改良土　・人工軽量土
樹木の材種、寸法、株立数、寸法等　※図示
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示
性能は建築材料等品質性能表による
支柱　・設置する　（種類　・図示　・　）
灌水装置　※設ける　・設けない

年　度	設計年月	工事名		代表となる設計者	一級建築士 大臣登録 第 181377 号　本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第14Z－12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	図 面 名 称	縮　尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.5		（有）鈴木養鶏場　鶏舎新築工事 （10号棟鶏舎）	その他の　設計者		特記仕様書（4）	――	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号　本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地　TEL（0977）75－0887	A－04

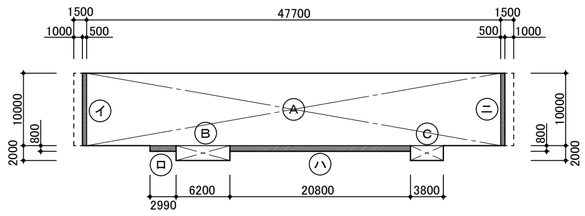


配置図 S=1:300



申請地:大分県速見郡日出町大字藤原字陣之辻5707−15番地

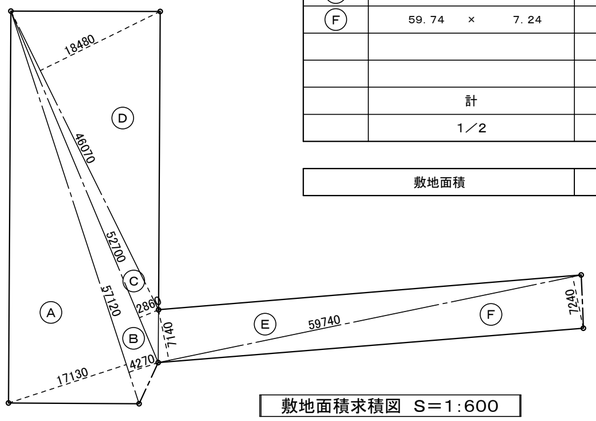
附近見取図



床面積求積図 S=1:600

敷地面積求積表			
Ⓐ	57.12	× 17.13	978.4656
Ⓑ	57.12	× 4.27	243.9024
Ⓒ	52.70	× 2.86	150.722
Ⓓ	46.07	× 18.48	851.3736
Ⓔ	59.74	× 7.14	426.5436
Ⓕ	59.74	× 7.24	432.5176
	計		3083.5248
	1／2		1541.7624

敷地面積	1541.76 ㎡



敷地面積求積図 S=1:600

床面積求積表		
Ⓐ	10.00 × 47.70	477.000
Ⓑ	2.00 × 6.20	12.400
Ⓒ	2.00 × 3.80	7.600
㋑	10.00 × 0.50	5.000
㋺	0.80 × 2.99	2.392
㋩	0.80 × 20.80	16.640
㋥	10.00 × 0.50	5.000

床面積表		
床面積	Ⓐ～Ⓒ	497.00 ㎡
延べ面積		497.00 ㎡
建築面積	床面積＋㋑～㋥	526.03 ㎡

年度	設計年月	工事名	鈴木養鶏場 鶏舎(10号棟)新築工事	代表となる設計者	一級建築士 大臣登録 第 181377 号 本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z−12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	A−
30	30.5			その他の 設計者		配置図	A2 1/300 A3 1/420	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号 本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地 TEL(0977)75−0887	
						敷地面積求積図・床面積求積図	A2 1/600 A3 1/840		

設計概要

工事名称	(有)鈴木養鶏場 鶏舎(10号棟)新築工事	建蔽率	70 % ＞ 34. 11 %			工事範囲	建築主体工事	設計図参照	付帯設備工事・外構工事
建築主	氏 名 ： 有限会社 鈴木養鶏場 代表取締役 鈴木明久	容積率	200 % ＞ 32. 23 %						付帯設備
	住 所 ： 大分県速見群日出町藤原5707－12番地	主要用途	鶏舎						擁壁工事
工事種類	■新築 □増築 □改修 □耐震補強	敷地面積	1541. 76 ㎡						
構造・規模	□W造 □RC造 4階建 ■S造 □CB造		申請部分	既存部分	合 計				
建築場所	住 所 ： 大分県速見郡日出町大字藤原字陣之辻5707－15番地	1階床面積	497. 00 ㎡		497. 00 ㎡				
区域区分	都市計画区域内(区域区分非設定)	延 面 積	497. 00 ㎡		497. 00 ㎡				
用途地域	無指定地域	建築面積	526. 03 ㎡		526. 03 ㎡				
防火地域	指定無し								
その他									

外部仕上表

部 位	仕 上
屋 根	両面ガルバニウム鋼板 t＝0. 35 厚50mm 芯材:硬質ウレタンフォーム ソフランウィズ ガルダン 同等品
	棟板:カラーガルバリウム鋼板t＝0. 35 ケラバ:カラーガルバリウム鋼板t＝0. 35
庇	両面ガルバニウム鋼板 t＝0. 35 厚30mm 芯材:硬質ウレタンフォーム ソフランウィズ ガルダン 同等品
外 壁	両面ガルバニウム鋼板 t＝0. 35 厚50mm 芯材:硬質ウレタンフォーム ソフランウィズ アルファⅡ 同等品
	出隅:カラーガルバリウム鋼板t＝0. 35 庇屋根⇔壁の取合 取合水切:カラーガルバリウム鋼板t＝0. 35
入気フード外壁	両面ガルバニウム鋼板 t＝0. 35 厚30mm 芯材:硬質ウレタンフォーム ソフランウィズ アルファⅡ 同等品

部 位	仕 上
巾木	化粧型枠コンクリート打放シ)
建具	木製建具ガルバニウム鋼板張 軽量バランスシャッター
シーリング	鶏舎内:シーリングC種15×15を下記箇所に行う 壁⇔壁(入隅部)・屋根⇔壁・基礎立上⇔壁 建具廻り

部 位	仕 上
外部	犬走:コンクリート直押え(金ゴテ) t＝120 D10@250(タテ、ヨコ共)
	U字型側溝W＝240(L＝40. 14m)
	SUS製グレーチング W＝240(L＝4. 00m)
	溜枡 450×450(市場品) 6ケ所
	プラットホーム:コンクリート直押え(金コテ) t＝150 D10@250(タテ、ヨコ共)
	飼料タンク基礎:コンクリート直押え(金コテ) t＝600 D19@200上下ダブル(タテ、ヨコ共)
	入気フード下部膨張ネット:亀甲金網＃18(1. . 2mm)×16mm 設置方法・固定方法は 打合せによる)

不燃番号凡例

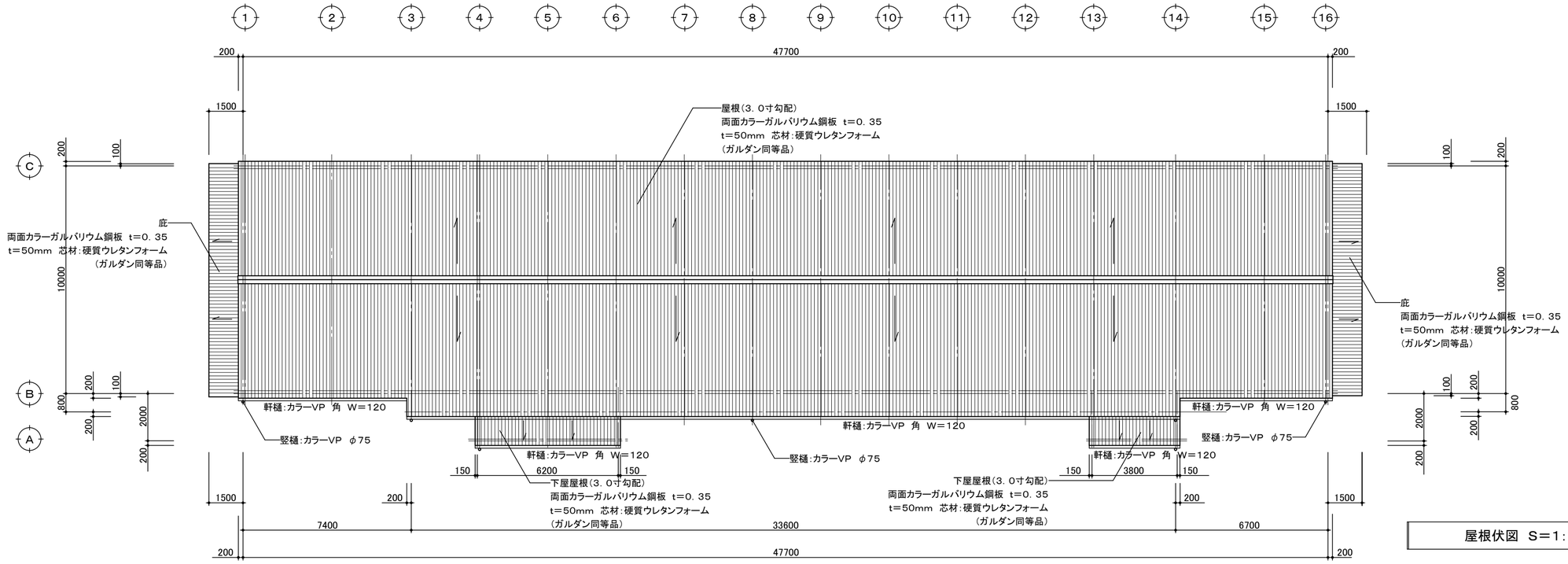
◎…不燃 ○…準不燃

◎a	PB(ア)15	NM－8615
◎b	PB(ア)12. 5	NM－8612
◎c	PB(ア)12. 5＋無機質クロス	NM－9895
◎d	ケイ酸カルシウム板	NM－8578
◎e	キッチンパネル	NM－8217
◎f	不燃ビニールクロス	NM－9908
○g	PB(ア)9. 5	QM－9828
○h	PB(ア)9. 5＋ビニールクロス	QM－9479
○i	コンクリート下地＋ビニールクロス	QM－9445
◎J	不燃化粧板(アイカ セラール)	NM－2183

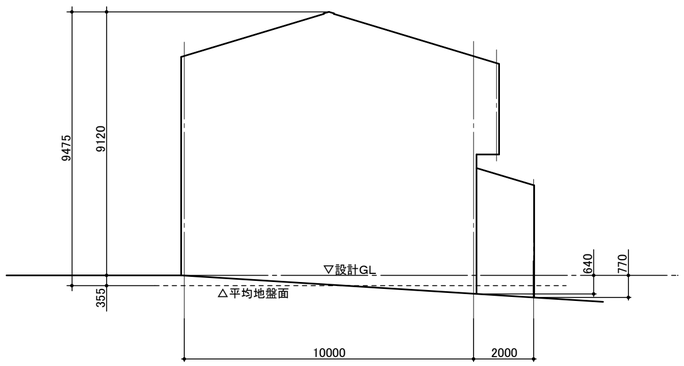
内部仕上表

区分	室 名	内装制限	床		巾 木	H	壁	天 井	天井高	廻り縁	備 考
1階	鶏 舎		下地	コンクリート直押え	コンクリート打放シ	400	鉄骨下地(亜鉛メッキ)	→ステンレスワイヤーを釘に巻き付けながら金網を固定 小屋組表し(鉄部亜鉛メッキ)			排水溝:W＝90、H＝30 排水溝用立上壁に栓取付B通に13箇所取付 栓:200W×80H×60Dヒノキ 取手:クサビ(亜鉛メッキ) 荷当:ロ－50×50×3. 2 OP 受け:L－100×75×7 OP 受け:L－50×50×6 OP B通43. 57×2＋47. 45×2＝182. 04m C通42. 90×2＋44. 74×2＝175. 28m チェーンスクレーパー点検口 チェカープレート 800×600(3枚)
			仕上	金コテ仕上			両面カラーガルバニウム鋼板張 t＝0. 35 厚50mm ソフランウィズ アルファⅡ同等品 芯材:硬質ウレタンフォーム	屋根材表し 風向板:珪酸カルシウム板 t＝4片面張 @12. 00m C－100×50×20×2. 3下地			
	電気室		下地	コンクリート直押え	コンクリート打放シ	400	鉄骨下地(亜鉛メッキ)	小屋組表し(鉄部亜鉛メッキ)			
			仕上	金コテ仕上			両面カラーガルバニウム鋼板張 t＝0. 35 厚50mm ソフランウィズ アルファⅡ同等品 芯材:硬質ウレタンフォーム	屋根材表し			
	入気フード		下地				鉄骨下地(亜鉛メッキ)	小屋組表し(鉄部亜鉛メッキ)			
			仕上				両面カラーガルバニウム鋼板張 t＝0. 35 厚30mm ソフランウィズ アルファⅡ同等品 芯材:硬質ウレタンフォーム	屋根材表し			

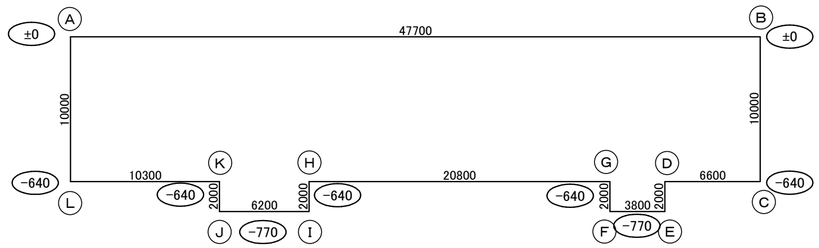
年度	設計年月	工事名		代表となる設計者		図 面 名 称	縮 尺		
30	30.5	工事名	(有)鈴木養鶏場 鶏舎新築工事 (10号棟鶏舎)	代表となる設計者	一級建築士 大臣登録 第 181377 号 本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z－12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	設計概要・外部仕上表・内部仕上表	1/100	建築士法第20条第1項に基づく表示 HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号 本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地 TEL(0977)75－0887	A－06
				その他の 設計者					



屋根伏図 S=1:150



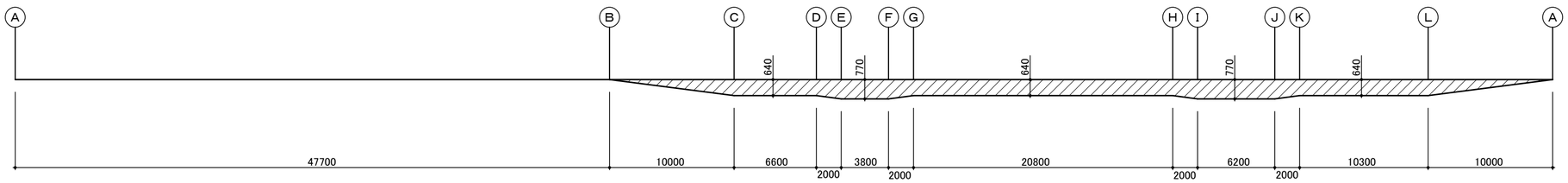
S=150



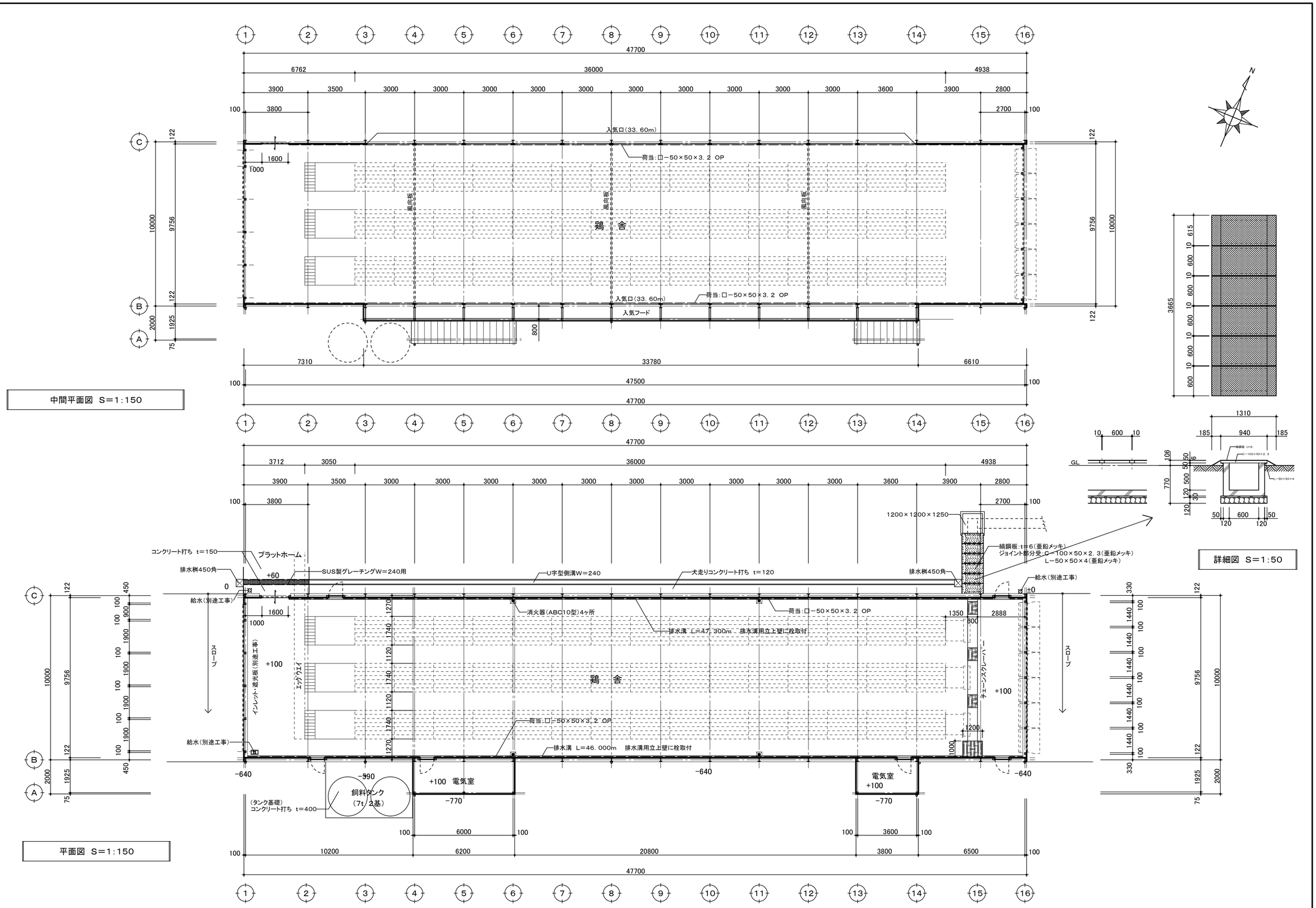
平均地盤面算定 S=1:300

平均地盤算定表 (単位:m)

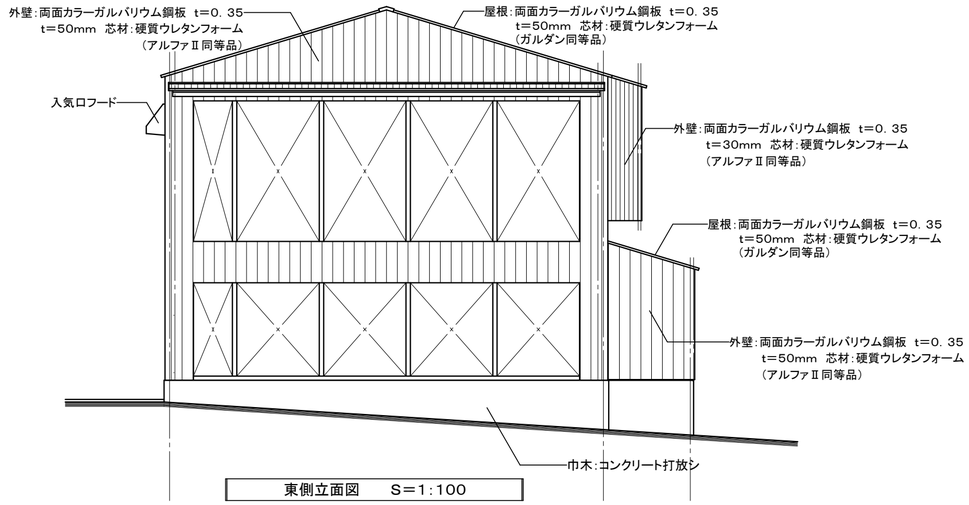
	領域Ⅰ	
A−B		
B−C	0.64×10.00×1/2	3.20
C−D	0.64×6.60	4.224
D−E	(0.64+0.77)×2.00×1/2	1.41
E−F	0.77×3.80	2.926
F−G	(0.64+0.77)×2.00×1/2	1.41
G−H	0.64×20.80	13.312
H−I	(0.64+0.77)×2.00×1/2	1.41
I−J	0.77×6.20	4.774
J−K	(0.64+0.77)×2.00×1/2	1.41
K−L	0.64×10.30	6.592
L−A	0.64×10.00×1/2	3.20
面積計		43.868 ㎡
周長計		123.40 m
平均地盤算出 : −43.868/123.40=0.355		0.355m



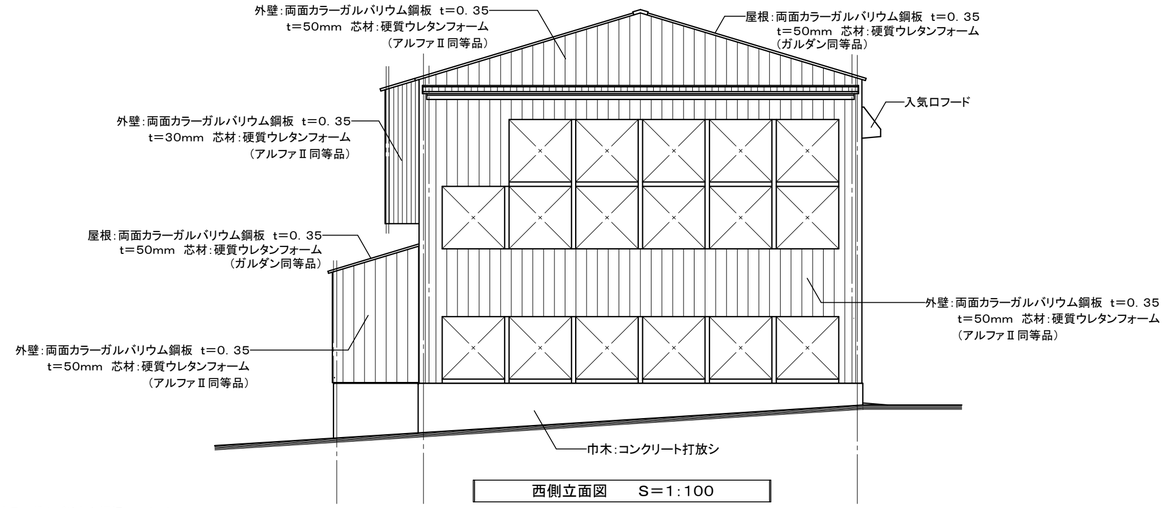
年度	設計年月	工事名		代表となる設計者	一級建築士 大臣登録 第 181377 号 本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z−12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.05		(有)鈴木養鶏場 鶏舎新築工事 (10号棟鶏舎)	その他の 設計者		平均地盤面算定・屋根伏図	A2 1/300 A3 1/420	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号 本多洋一 大分県杵築市山香町倉成573番地 TEL(0977)75−0887	A−07
						屋根伏図	A2 1/150 A3 1/210		



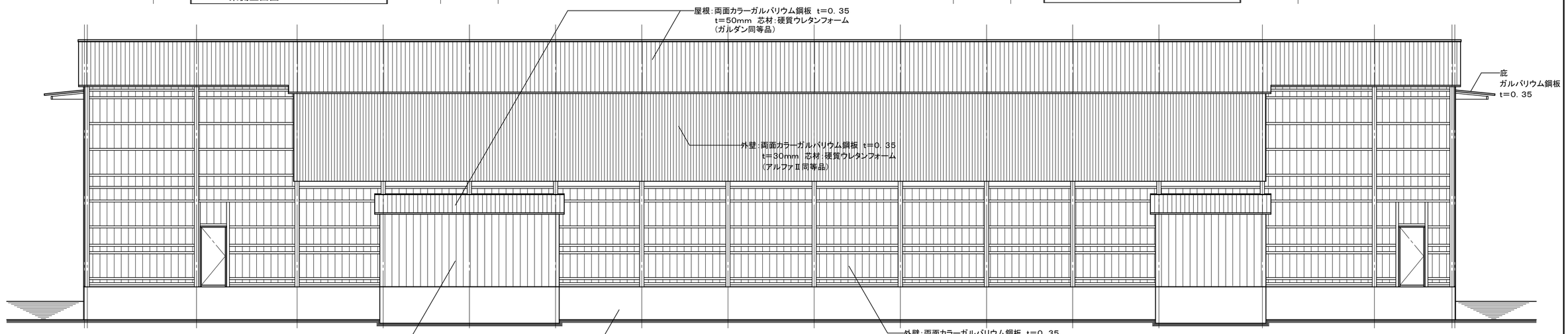
年度	設計年月	工事名		代表となる設計者		図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.05		(有)鈴木養鶏場 鶏舎新築工事 (10号棟鶏舎)		一級建築士 大臣登録 第 181377 号 本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z−12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	平面図	A2 1/150 A3 1/210	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号 本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地 TEL(0977)75−0887	A−08
				その他の 設計者					



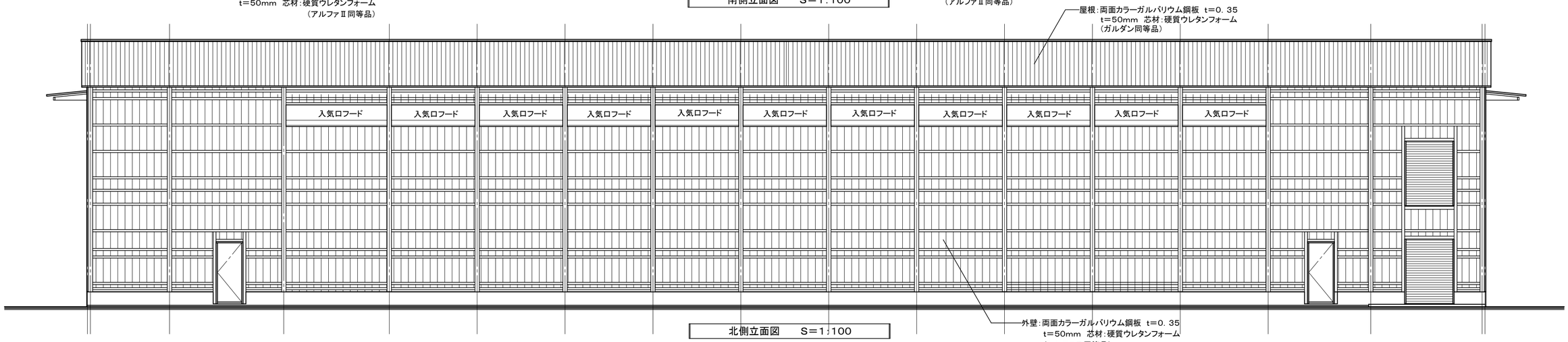
東側立面図　S＝1：100



西側立面図　S＝1：100

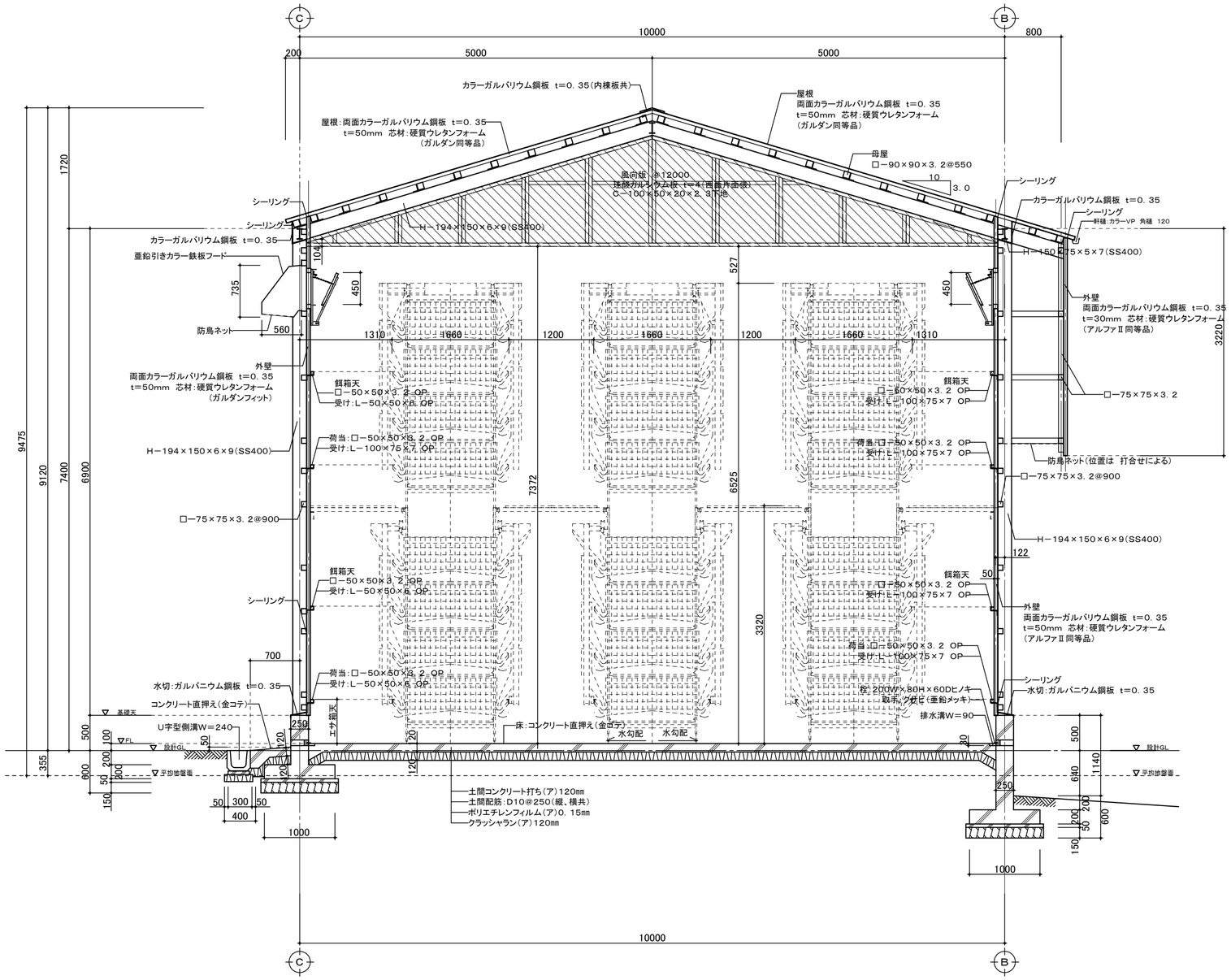


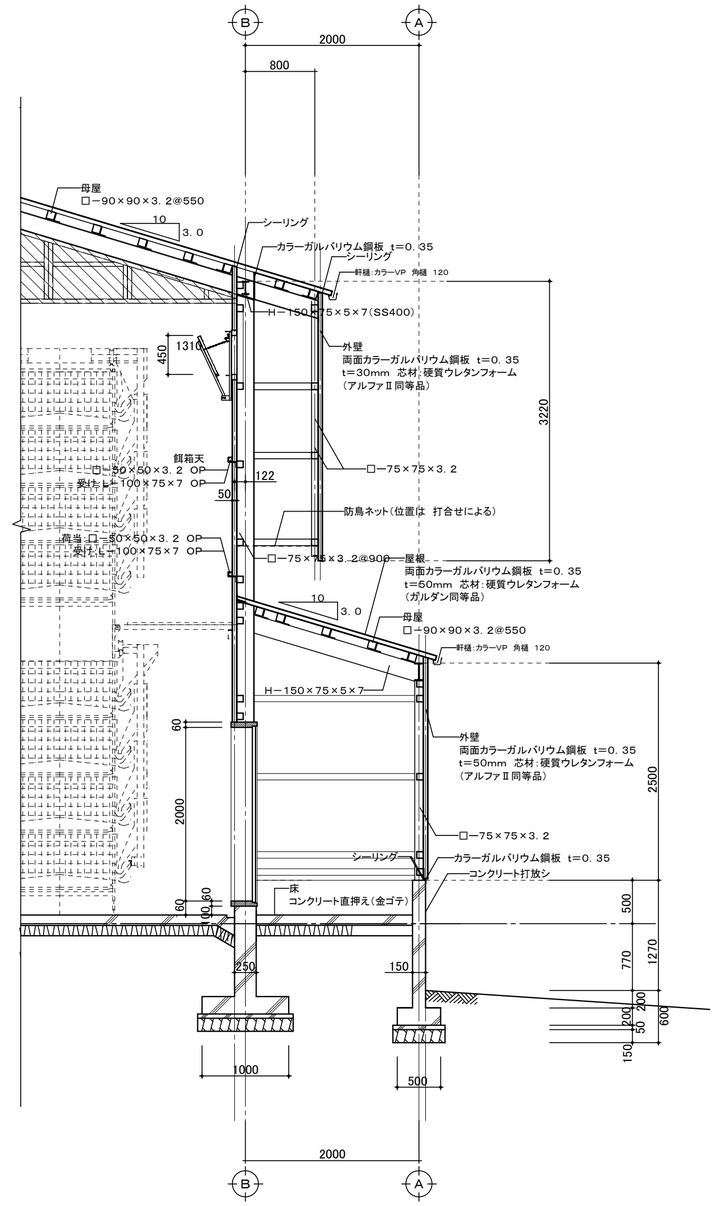
南側立面図　S＝1：100



北側立面図　S＝1：100

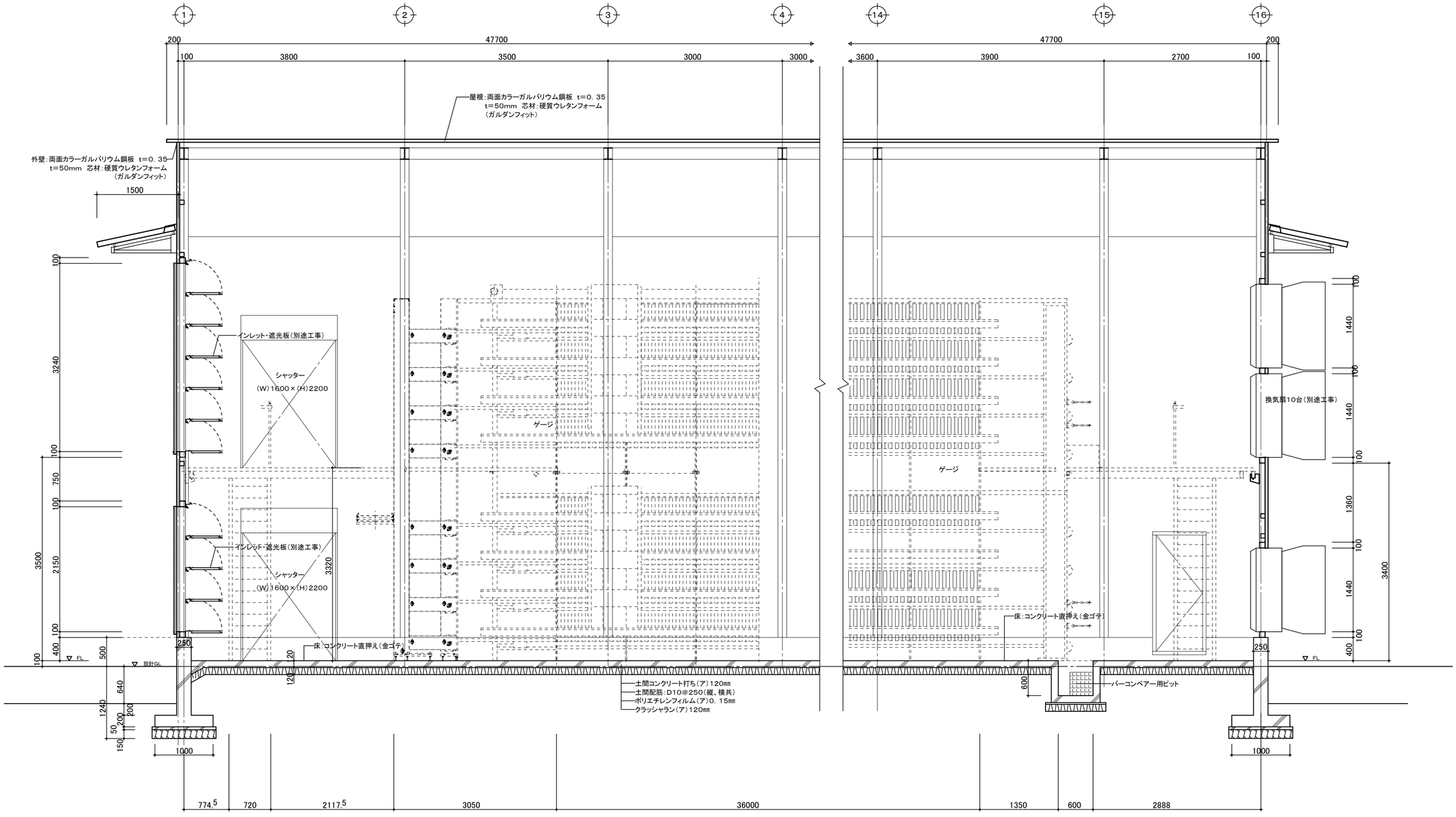
年度	設計年月	工事名		代表となる設計者	一級建築士 大臣登録 第 181377 号　本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z－12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.5		（有）鈴木養鶏場 鶏舎（10号棟）新築工事	その他の 設計者		立面図	1/100	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号　本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地　TEL（0977）75－0887	A－09



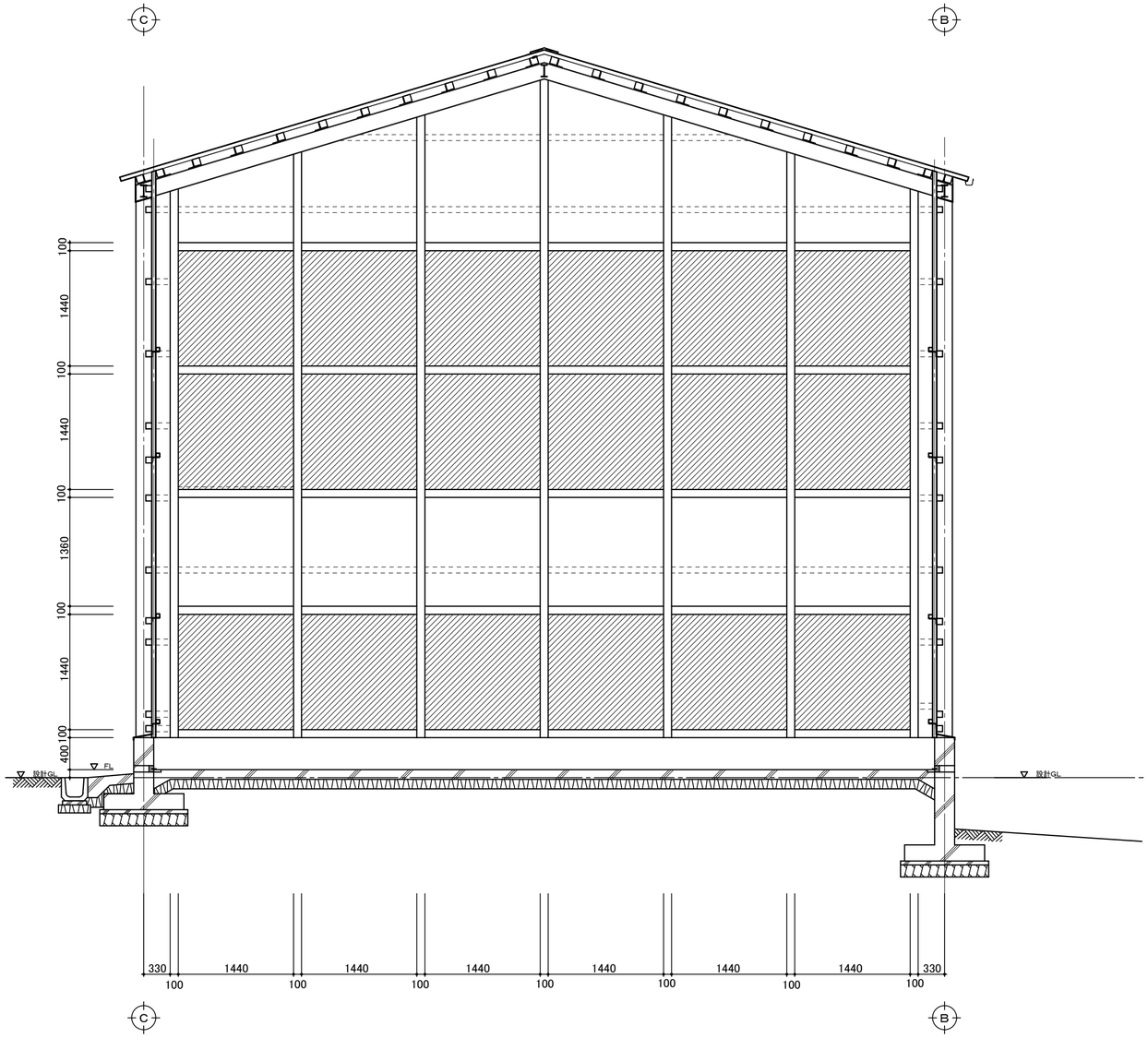


※外部との隙間がある場所は 全てコーキング処理すること。

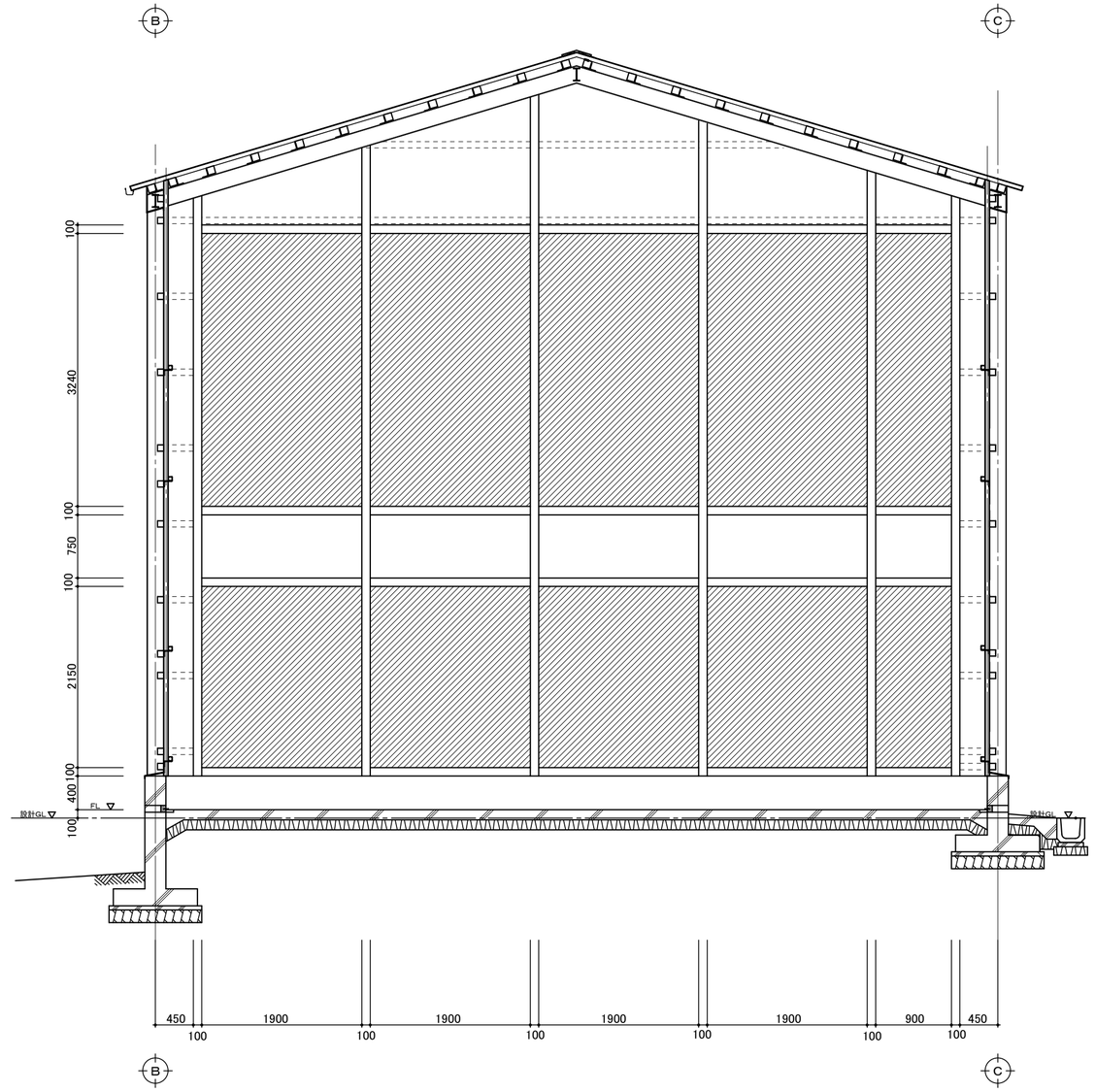
年度	設計年月	工事名		代表となる設計者	一級建築士 大臣登録 第 181377 号 本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z-12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.5		(有)鈴木養鶏場 鶏舎(10号棟)新築工事	その他の 設計者		矩計図	A2 1/50 A3 1/70	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号 本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地 TEL(0977)75-0887	A-10



年度	設計年月	工事名		代表となる設計者	一級建築士 大臣登録 第 181377 号 本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z－12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.5		（有）鈴木養鶏場 鶏舎（10号棟）新築工事	その他の 設計者		断面詳細図－1	A2 1/50 A3 1/70	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号 本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地 TEL（0977）75－0887	A－11



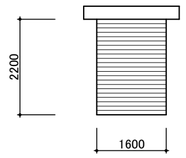
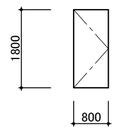
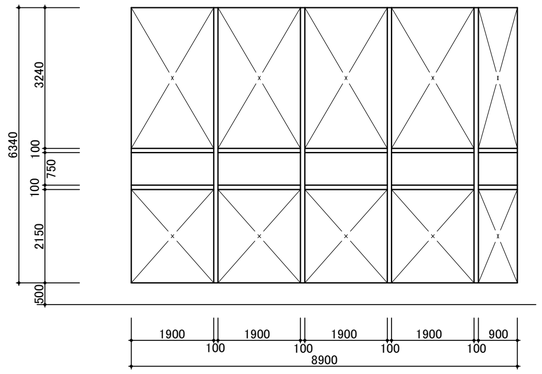
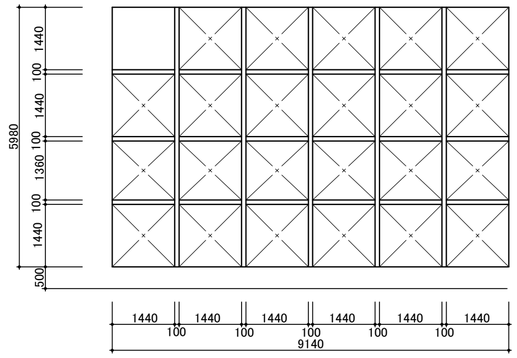
⑯ 通り　S＝1:50

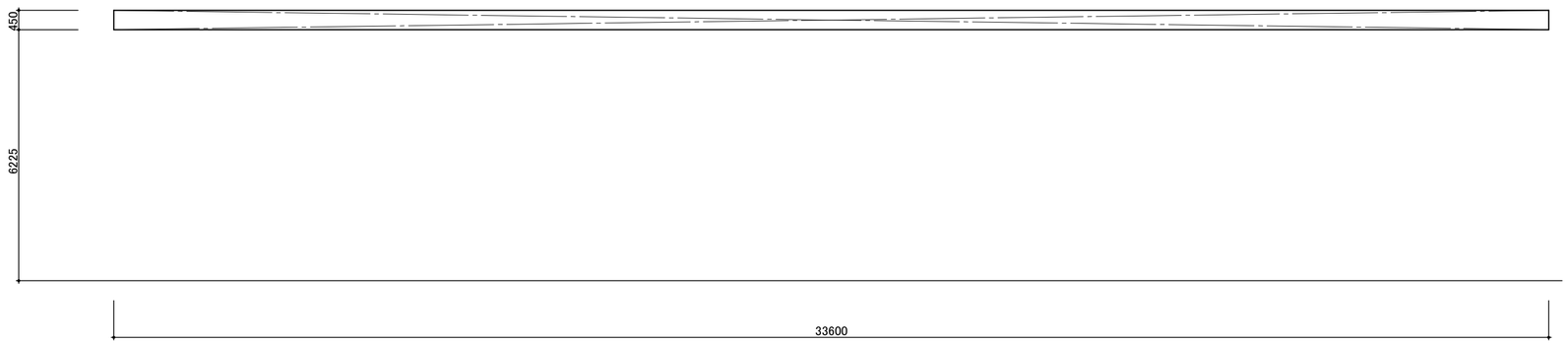


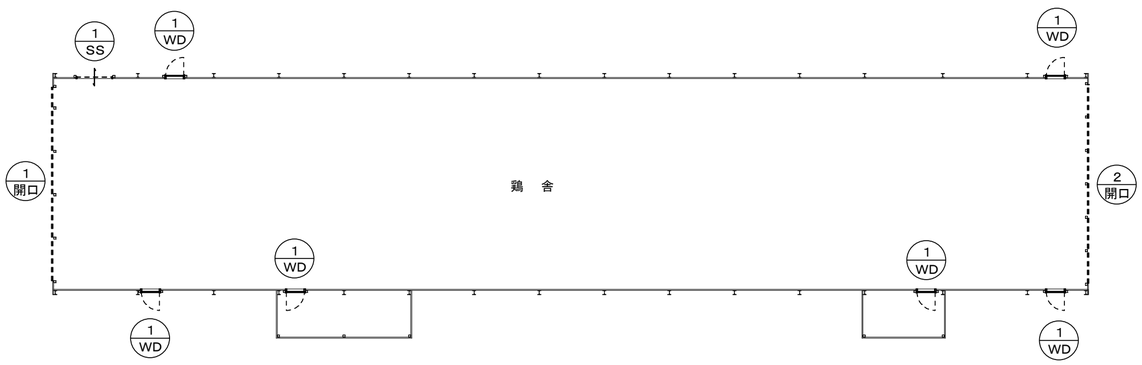
① 通り　S＝1:50

年度	設計年月	工事名		代表となる設計者	一級建築士 大臣登録 第 181377 号　本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z－12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.5		(有)鈴木養鶏場 鶏舎(10号棟)新築工事	その他の 設計者		断面詳細図－2	A2 1/50 A3 1/70	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号　本 多 洋 一 大分県杵築市山香町倉成573番地　TEL(0977)75－0887	A－12

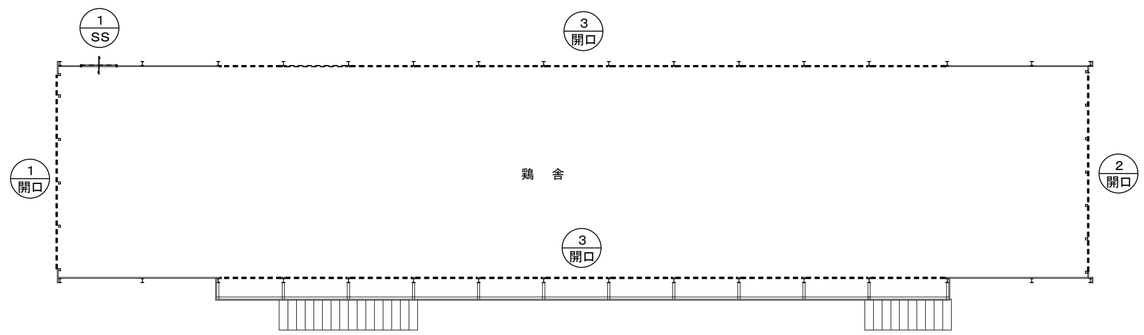
建具表 S＝1:100

記号	1 SS 軽量シャッター	1 WD 片開ドア	1 開口 開口 1ヶ所	2 開口 開口 1ヶ所
姿図				
数量	2	5		
見込	70	45		
材質	化粧鋼板 t＝0．5mm	コンパネ t＝12mm下地ガルバニウム鋼板張 t＝0．35		
金物	付属金物一式	SUS丁番(3枚)、シリンダー錠、付属金物一式		
備考	座板、ガイドレール、化粧鋼板ボックス	ドアチェック		

記号	3 開口 開口 2ヶ所
姿図	



建具キープラン S＝1:200



中間建具キープラン S＝1:200

年度	設計年月	工事名		代表となる設計者	一級建築士 大臣登録 第 181377 号 本多 洋一 本多設計一級建築士事務所 大分県知事登録 第 14Z－12671 号 大分県杵築市山香町倉成573番地	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	
30	30.5		(有)鈴木養鶏場 鶏舎新築工事 (10号棟鶏舎)	その他の 設計者		建具キープラン・建具表	A2 1/200・1/100 A3 1/280・1/140	HONDA 本多設計一級建築士事務所 1級建築士登録第181377号 本多洋一 大分県杵築市山香町倉成573番地 TEL(0977)75－0887	A－13